

IDWR

静岡県

2026 年第 1 週(12 月 29 日～1 月 4 日)

Infectious Diseases Weekly Report Shizuoka

感染症週報

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に
基づく感染症発生動向調査より

作成 静岡県健康福祉部感染症対策課／静岡県環境衛生科学研究所

(2026 年 1 月 13 日公開)

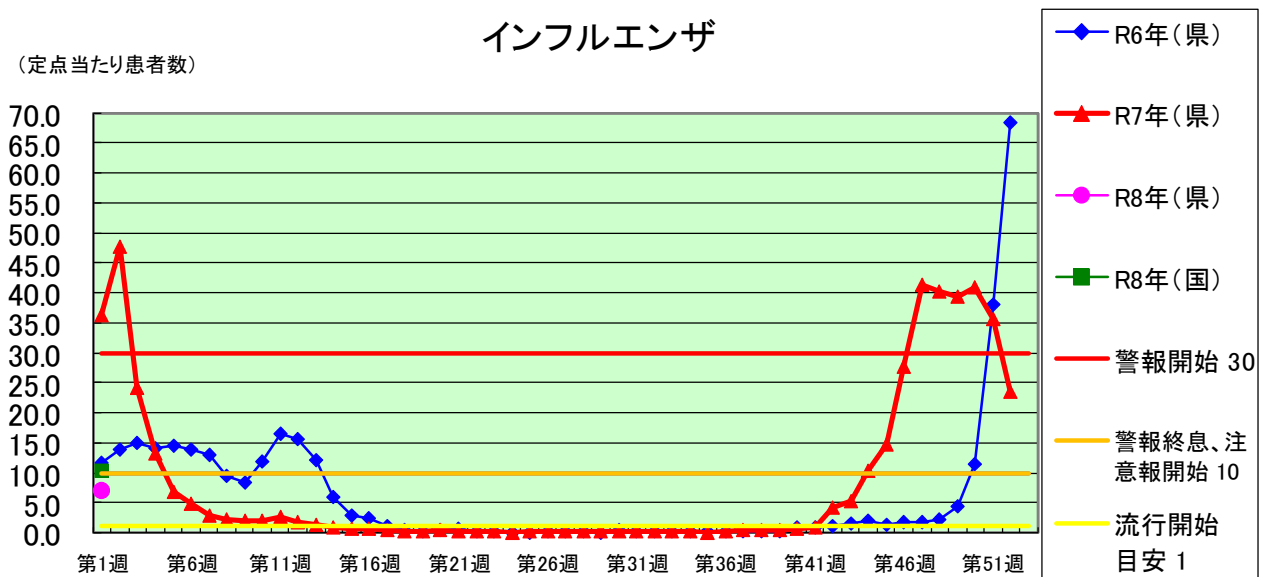
インフルエンザの警報レベルが終息しました(第1週6.94)

インフルエンザの発生動向調査は、9月1日から新シーズン(2025-2026シーズン)となり、新シーズン7週目となる、2025年第42週(10/13～19)の感染症発生動向調査で、静岡県内のインフルエンザの定点当たり患者数が流行開始の目安とされている1以上となり(第42週:4.23)、流行期となりました。第44週(10/27～11/2)には注意報開始基準の10を超え(第44週:10.40)、注意報レベルとなり、第47週(11/17～23)には警報開始基準の30を超え(第47週:41.26)、警報レベルとなりました(記録が残る2002年以降、2009年、2023年と並び、最も早い警報入りです(2009年第47週(11/16～)、2023年第47週(11/20～)))。その後、横ばいの状況が続きましたが、2026年第1週(12/29～1/4)には6.94となり、警報終息基準値の10を下回りました(警報の期間:2025年第47週～2025年第52週(11/17～12/28))。

警報レベルはいったん終息しましたが、例年、年始に患者数が増加する傾向があるため、再度流行が拡大し、注意報レベルになることも考えられます。県民の皆様には、引き続き、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に努めていただくとともに、ワクチン接種を検討していただくようお願いいたします。

※インフルエンザの定点当たり患者数とは、県内139の内科・小児科定点医療機関から報告された1週間の患者数を施設数139で割った数値です。

※流行開始の目安とされている定点当たり患者数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30、警報レベルの終息は10です。



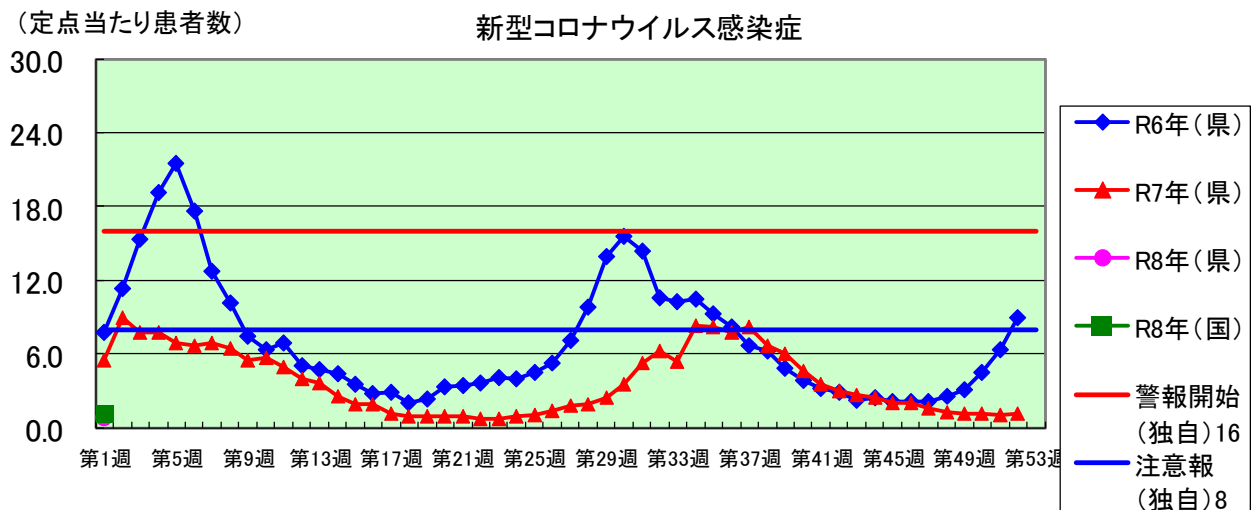
新型コロナウイルス感染症感染拡大注意報は解除されています (第1週 0.78)

2025年第34週(8/18～24)の定点あたり患者数が8.34と注意報基準値の8を超えたため、8/29に感染症拡大注意報を発令しました(昨年は第30週(7/22～28)がピークで定点あたり患者数が15.60、注意報は7/19～9/19の約9週間続きました)。第36週(9/1～7)は、7.80と基準値の8を下回ったため、感染拡大注意報を解除しましたが、第37週(9/8～14)に8を超えたため、再度、注意報を発令しました。第38週(9/15～21)は、6.65と基準値の8を下回ったため、感染拡大注意報は解除されています。(注意報期間:8/29～9/11、9/19～25)。

なお、9月に入ってからコロナ患者さんは、学校の新学期が始まったためか、20歳未満が全体の4割を占めています。

感染拡大注意報基準である定点あたり8人を下回りましたが、例年、年始にかけて増加する傾向がありますので、県民の皆様には、引き続き、咳エチケットや換気、手洗いといった感染拡大防止対策に御協力をお願いします。

県内の新型コロナウイルスの変異株の状況は、4月頃から新たにNB.1.8.1系統が県内でも検出され、6月にはゲノム解析件数が4件と少ないですが、全てNB.1.8.1系統でした。また、7月には8検体中、6検体がNB.1.8.1系統です。現時点ではNB1.8.1系統によって重症者が増えるという情報はなく、県内のコロナの入院患者数も少ない状況です。



RS ウイルス感染症は再増加しています(第 1 週 0.09)

RSウイルス感染症の定点医療機関当たり 1 週間の報告数が、2025 年第 10 週において 1.07 人と1を超えましたので、県は流行期に入ったと判断しました(RSウイルス感染症には、国が定める注意報や警報の基準値はありませんが、静岡県では 0.5 で「流行が始まる可能性あり」、1 以上で「流行期に入っている」と考えています。)

静岡県内のRSウイルス感染症の定点医療機関当たり 1 週間の報告数は、第 5 週(1/27～2/2)に 0.64 で、0.5 を超え、第10週(3/3～9)と第11週(3/10～16)に1台になり、その後も 0.5～0.8 付近を推移していましたが、第 19 週は 0.2 台に下がりました。その後は0.1台の週が多くなっていましたが、第 27 週(6/30～7/6)以降は0.2台となり、第 29 週(7/14～20)は0.4台に増加し、第 33 週(8/11～17)には再び1を超え、第 37 週(9/8～14)には2を超えました。第 43 週(10/20～26)には 0.74 と、1 を下回りましたが、春の流行が小規模でしたので、今後しばらく発生数が増加し、流行が続く可能性があります。県内の患者の年齢は、80%以上が 2 歳以下です。

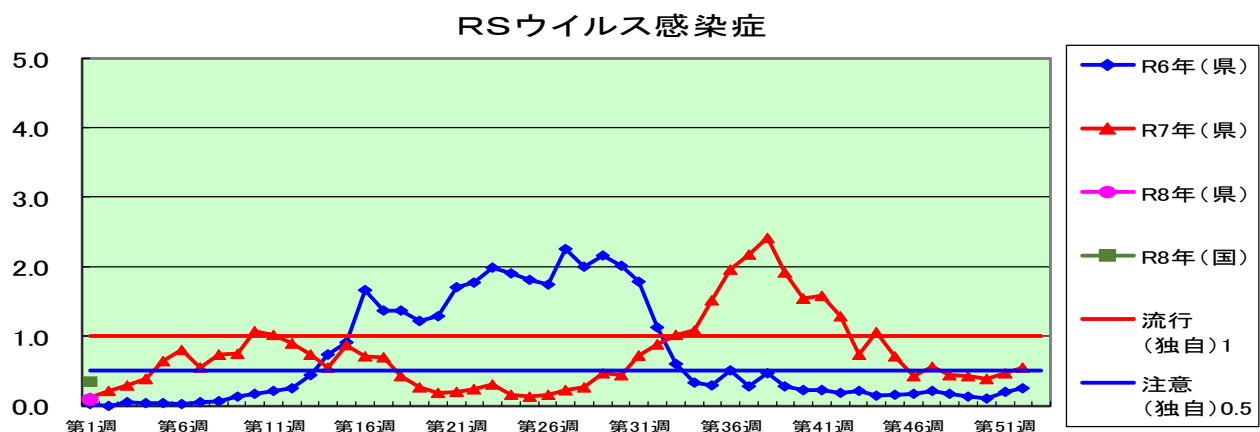
RSウイルス感染症は、飛沫感染(咳、くしゃみの飛び散り)や接触感染(鼻水や痰、だ液等を触る)でうつります。うつってから発症するまでの潜伏期間は約 5 日、人にうつす感染期間は発症後約 1 週間です。

症状は、発熱、咳、鼻水、喘鳴(ゼーゼー、ひゅーひゅーの呼吸)です。年長児や成人では、軽いかぜ症状ですむ場合も多いですが、乳児早期(特に 2 か月以下の赤ちゃん)に感染した場合は、急性細気管支炎や肺炎となり、哺乳低下や呼吸困難で入院したり、さらには人工呼吸管理を要したりすることもあります(感染した乳幼児の約 30 人に 1 人は入院するという報告もあります)。

RSウイルス感染症専用の有効な治療法はなく、水分補給の点滴や酸素投与などの対症療法のみです。赤ちゃんがいる家庭では、かぜ症状のある方から赤ちゃんにうつさないようにマスク着用や手洗いを励行してください。赤ちゃんが、咳鼻水やゼーゼーで、ミルクの飲む量が減ってきたら、早めに小児科医院を受診しましょう。

この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の感染症情報提供サイトを御覧ください。

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/alphabet/rs/010/rs-intro.html>



百日咳が流行しています(第 1 週 2 人)

2025 年第6週(2/3～)以降、1週間に 1～2 人の百日咳患者が県内医療機関から報告されることが多くなっていましたが、第 14 週(3/31～4/6)に 5 人となり、第 15 週(4/7～13)は 21 人と急増しました。その後は第20週(5/12～18)までは20人前後が続いた後、第21週(5/19～25)に40人まで増えてからは毎週増加し、**第 28 週(7/7～14)は 84 人となり、全数把握感染症となった 2018 年以降の最高値を更新しました。**(それまでの過去最高値は、2025 年第26 週(6/23～29)80 人です。)発生数は徐々に減少し、第 39 週(9/22～28)には 19 人まで減少しました。しかし、その後、横ばいの状況が続いており、今後、再度増加する可能性もあります(第 1 週 2 人:熱海 1 東部 1)。

コンコンという咳が連発してよる眠りにくい場合には、マスク可能な方は着用して、早めに受診しましょう。

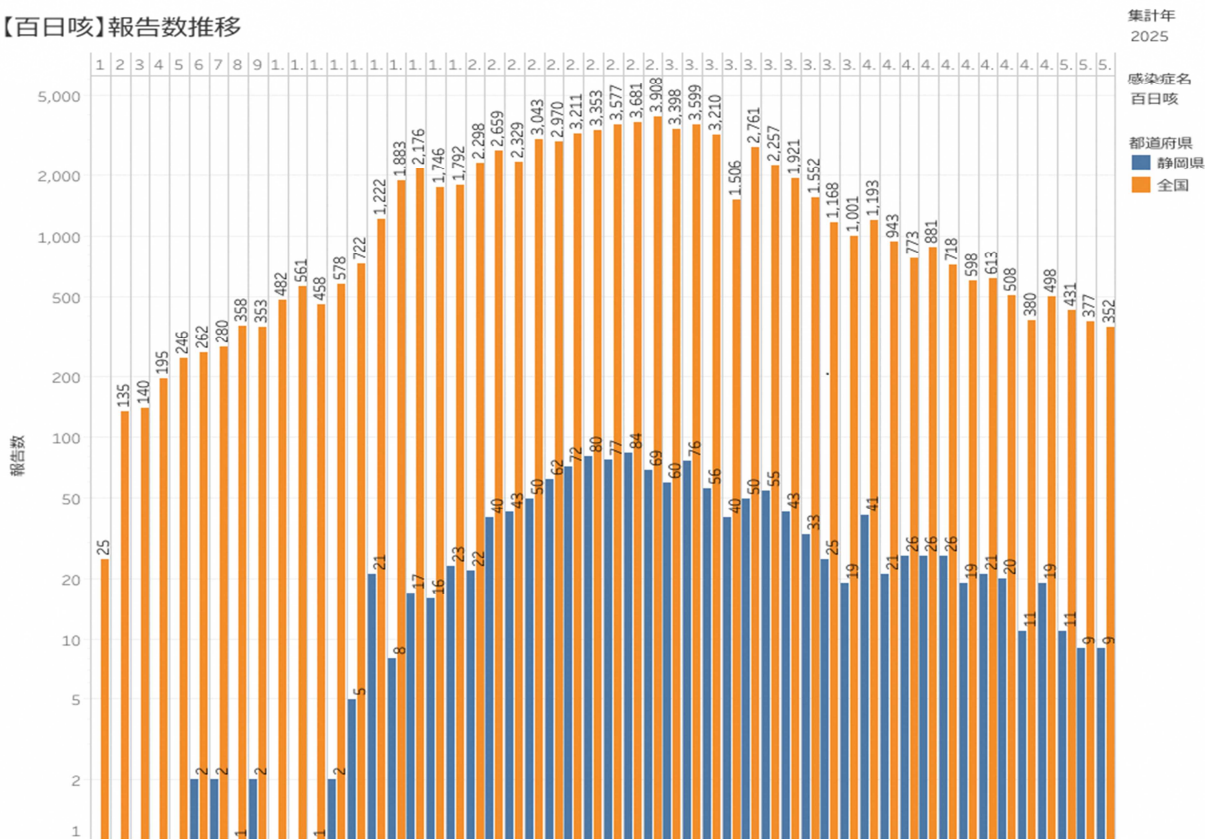
年齢分布では 10～14 歳が最多で、続いて5～9歳が多くなっています。百日咳を含むワクチンをまだ打っていない赤ちゃんがいる家庭で、兄弟が咳症状がある場合には赤ちゃんに近づかないようにしてください。

なお、生後6か月以下の赤ちゃんが百日咳にかかると呼吸がしにくくなるなど重症になる場合がありますので、2か月になったらすぐに5種混合ワクチン(百日咳ワクチンを含んでいます)を接種しましょう。また、咳のひどい人は赤ちゃんの世話を避けることも大切です。

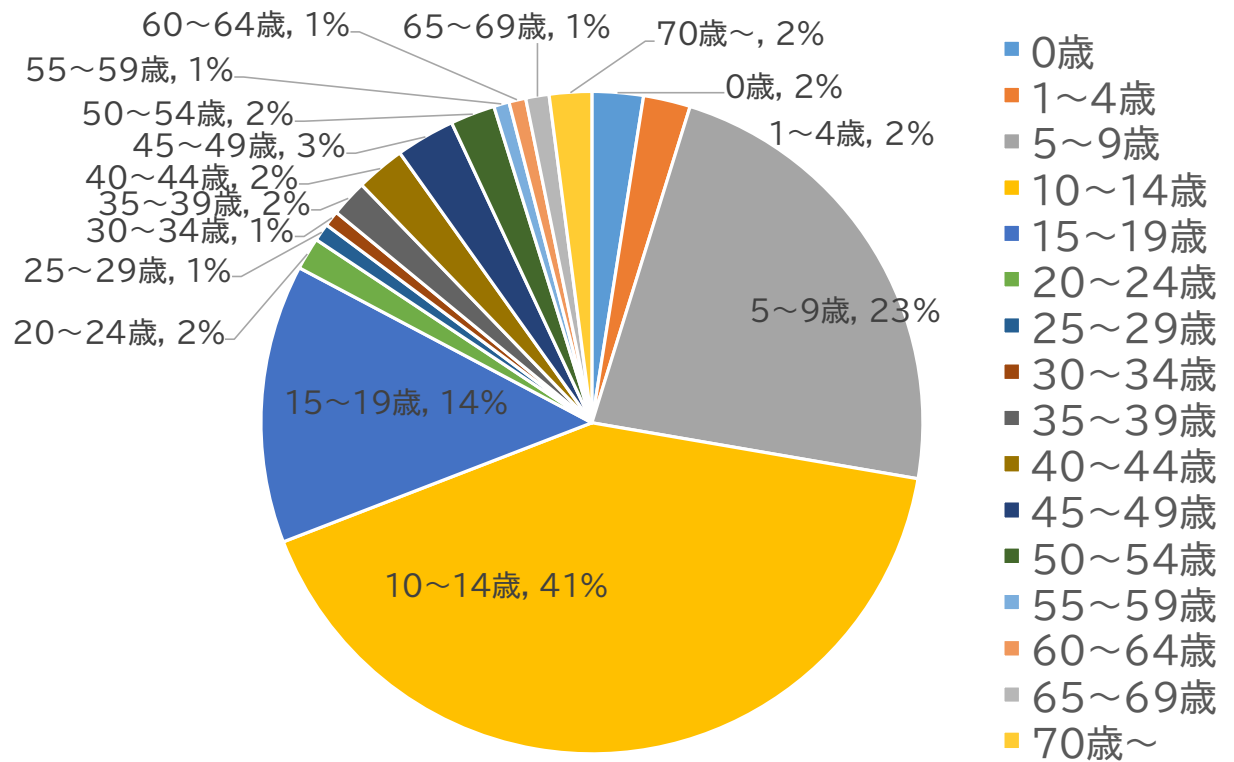
この感染症の詳しい説明は、国立健康危機管理研究機構(JIHS)の感染症情報提供サイトを御覧ください。

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/010/>

【百日咳】報告数推移



年齡分布(2025年 累計1,837人)



伝染性紅斑の警報レベルは終息しました(第1週 0.02)

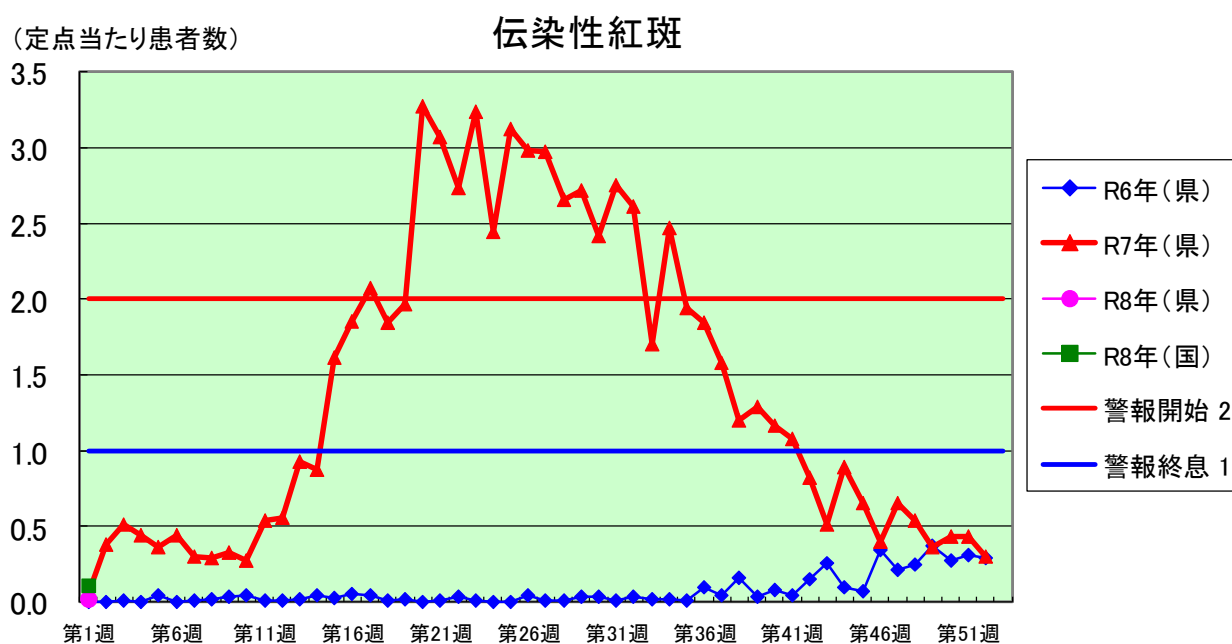
伝染性紅斑が、2025年第3週(1/13～19)の0.51以来、0.5を超えることが続いていましたが第17週(4/21～27)に警報基準値の2を超えました。第42週(10/13～19)は0.82となり、警報終息基準値の1を下回りました。(警報レベルの期間は25週間(4/21～10/12)でした。)

警報レベルとなったのは、2011年第25週(6/21～27)以来で、その時は第28週(7/12～18)まで継続しました。**2025年第20週(5/12～18)には3.27となり、記録が残る2006年以降の最高値となりました。(これまでの過去最高値は、2011年第25週(6/20～26)の2.57です。)**

直近の県内では、伝染性紅斑にかかる人は3～9歳の子どもが主になっています。子どもがかかっても、軽い風邪症状のあと、両頬や腕に淡いピンクの発疹が出ては消えるだけのことがほとんどで心配は要りません。

妊婦さんがかかると赤ちゃんがしんどくなることがありますので、妊婦さんで多数の子どもに接する方は、かからないようにマスク着用が望ましいです。

家族が伝染性紅斑になった場合、妊婦さんは産科医院に相談してください。



マイコプラズマ肺炎が流行しています(第 1 週 0.1)

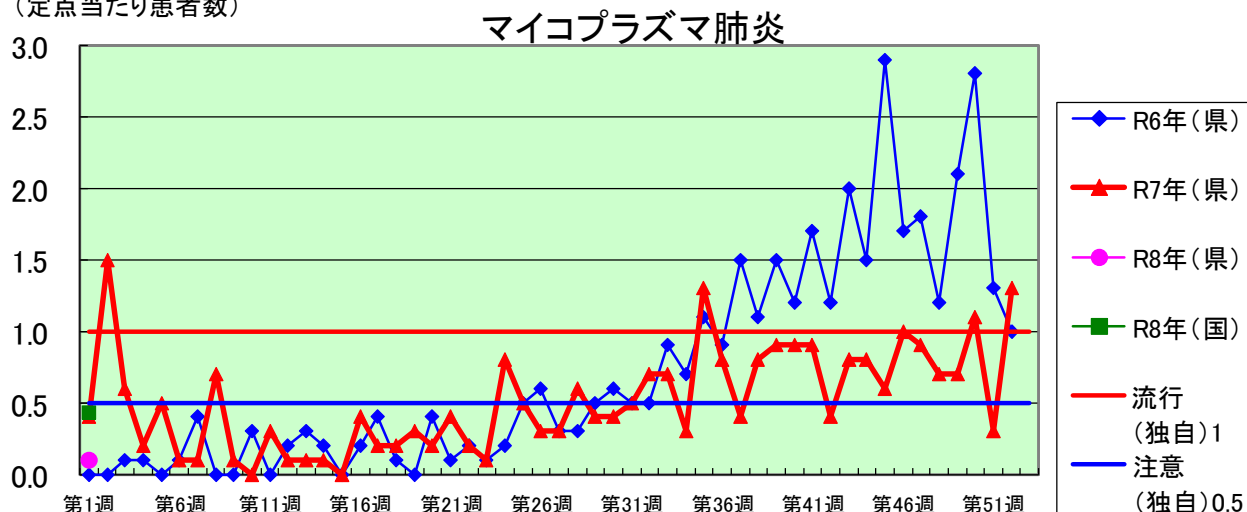
マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによる細菌感染症です。感染経路は、主に飛沫感染と接触感染で、家族内や学校など濃厚接触が多い場所で、しばしば集団発生が起こります。潜伏期間は2～3週間程度で、主な症状は発熱、全身倦怠感、頭痛、咳などで、解熱後も咳が長く続くことがあります。必ずしも肺炎にならず、上気道炎や気管支炎も多いです。全年齢層に感染が見られますが、若年齢層に多く、14 歳以下が6～8割を占めます。過去の疫学調査研究では、3～7年程度に1回国内で大きな流行が起こっています。

2024 年第 29 週(7/15～21)以降、定点当たり患者数※0.5 以上が続き、第 35 週(8/26～9/1)は 1.1 となりました。国は基準値を定めていませんが、県感染症情報センターでは、0.5 以上が継続した場合、流行が始まる可能性あり、1以上では確実に流行していると考えています。(県内の定点当たり患者数が1以上となったのは、2019 年第 51 週(12/16～22)以来です。)

2025 年に入ってから、第 2 週(1/6～12)に 1.5 まで上昇しましたが、その後は 0～0.8(平均 0.3)で推移していました。第35 週(8/25～31)は再度1を超え、1.3となり、第 50 週(12/8～14)にも 1.1 となっています。

マイコプラズマ肺炎の過去の流行では、1、2年間にわたって患者数が多い期間が続いていますので、県民の皆様には、引き続き、人混みでのマスク着用、咳エチケット、適切な換気と手洗いなど、飛沫・接触感染の対策に御協力をお願いします。

(定点当たり患者数)



◆全数届出の感染症

感染症分類	感染症名	保健所名	報告数
5 類感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	浜松市	1
	梅毒	浜松市	1
	百日咳	熱海	1
		東部	1

保健所別の警報状況

警 報 インフルエンザ(賀茂)

注意報 インフルエンザ(熱海)

警報・注意報・流行期入りの目安(新型コロナウイルス感染症以外)

区分	説明
警報レベル	大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
注意報レベル	流行の発生前:今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い 流行の発生後:流行が継続していると疑われる
流行入りの目安 (インフルエンザのみ)	定点医療機関あたり患者数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられる

※1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	－
感染性胃腸炎	20.0	12.0	－
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	－
伝染性紅斑	2.0	1.0	－
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	－
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

警報・注意報の目安(新型コロナウイルス感染症)

新型コロナウイルス感染症の警報・注意報の基準値は、静岡県が独自に設定しています。注意報レベルは、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を保健所ごとに設定し、感染者が急増するおそれがある状況を指します。警報レベルは、人口10万人当たり400人以上となった水準を設定し、感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況を指します。国が基準値を設定するまでの間、暫定的にこの基準値に基づき注意喚起します。

新型コロナウイルス感染症(県独自)		
保健所名	注意報基準値	警報基準値
賀茂	13.0	26.0
熱海	9.0	18.0
東部	8.0	16.0
御殿場	17.0	34.0
富士	11.0	22.0
県東部地域	10.0	20.0
静岡市	6.0	12.0
中部	8.0	16.0
県中部地域	7.0	14.0
西部	10.0	20.0
浜松市	7.0	14.0
県西部地域	8.0	16.0
県全体	8.0	16.0

感染症発生動向調査
令和8年第1週(12/29～1/4)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値（開始基準値）以上で開始し、別の基準値（終息基準値）未満で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

【五類感染症(定点把握)の追加:急性呼吸器感染症(ARI)】

将来的なパンデミックに備え、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等、すでに感染症発生動向調査の対象疾病となっている感染症以外が原因となる急性呼吸器感染症の発生傾向や発生水準を把握する目的で、急性呼吸器感染症(ARI)が、五類定点把握感染症に追加されることとなりました。(令和6年11月29日 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則改正 令和7年4月7日施行)

令和7年第15週から急性呼吸器感染症(ARI)も報告の対象となっています。

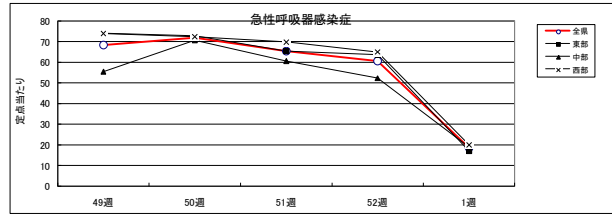
疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

第1週(12/29～1/4)の感染症発生動向調査では、インフルエンザの定点当たり報告数が6.94人となり、前週の23.47人から減少し、警報レベルの開始基準値30を2週連続で下回りました。急性呼吸器感染症(ARI)の定点当たり報告数は、18.6人となり前週の60.69人から減少、新型コロナウイルスの定点当たり報告数は、0.78人となり前週の1.17人から減少しました。

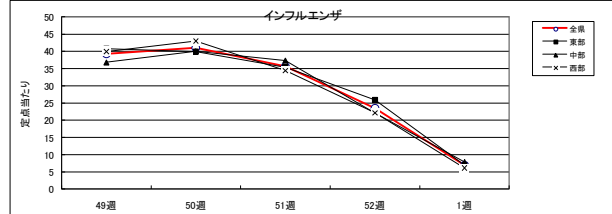
【急性呼吸器感染症】

全県で罹患数2,585、定点当たり18.6の患者発生があり、前週の60.69から減少した。定点当たり東部地区で17.04、中部地区で18.95、西部地区で19.94の患者が発生した。



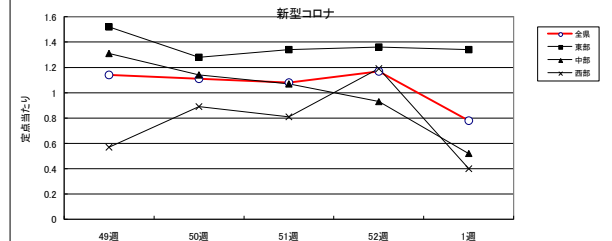
【インフルエンザ】

全県で罹患数965、定点当たり6.94の患者発生があり、前週の23.47から減少した。警報レベルの開始基準値30を2週連続で下回った。定点当たり東部地区6.92、中部地区で7.88、西部地区で6.13の患者が発生した。



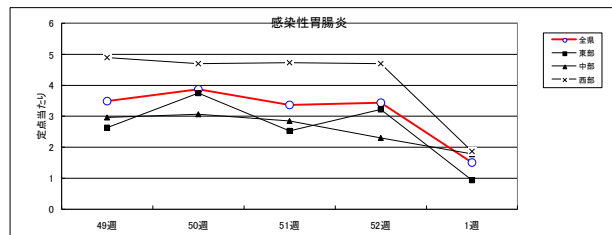
【新型コロナ】

全県で罹患数108、定点当たり0.78の患者発生があり、前週の1.17から減少した。定点当たり東部地区で1.34、中部地区で0.52、西部地区で0.4の患者が発生した。



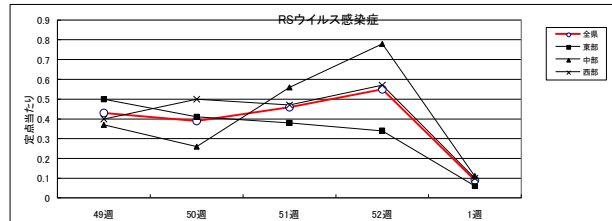
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数134、定点当たり1.51の患者発生があり、前週の3.44から減少した。定点当たり東部地区で0.94、中部地区で1.78、西部地区で1.87の患者が発生した。



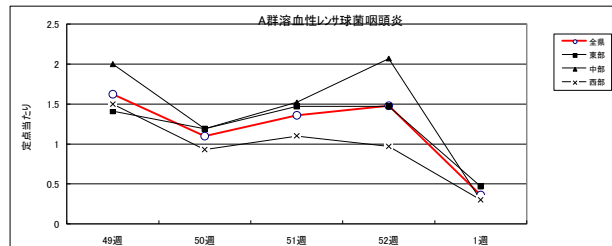
【RSウイルス感染症】

全県で罹患数8、定点当たり0.09の患者発生があり、前週の0.55から減少した。定点当たり東部地区で0.06、中部地区で0.11、西部地区で0.1の患者が発生した。



【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

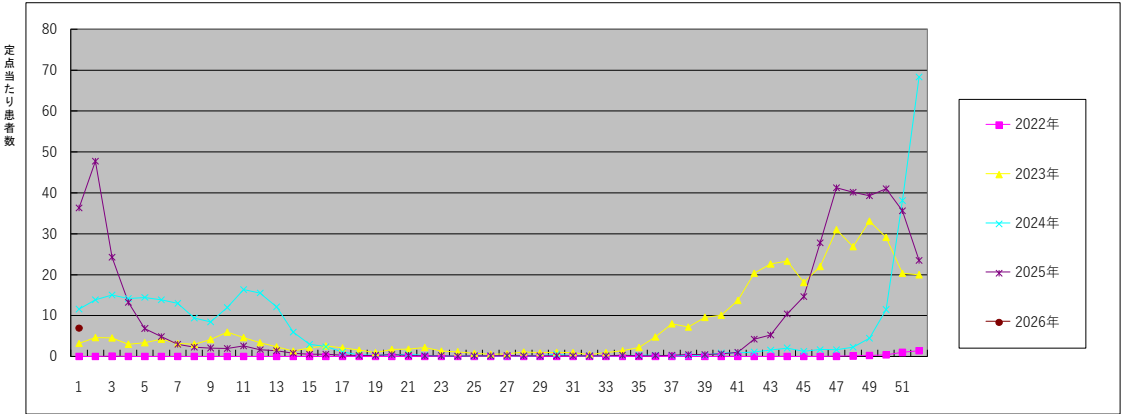
全県で罹患数32、定点当たり0.36の患者発生があり、前週の1.48から減少した。定点当たり東部地区で0.47、中部地区で0.3、西部地区で0.3の患者が発生した。



【その他】

- ・麻疹、風疹は患者発生なし。
- ・全国のインフルエンザの定点当たりの患者報告数は10.35で前週の22.77から減少し、警報レベルの開始基準値30を2週連続で下回った。警報レベルの保健所を有する都道府県は47から43に減少、注意レベルの保健所を有する都道府県は24から17に減少した。
- ・全国の新型コロナの定点当たりの患者報告数は1.13で前週の1.32から減少した。
- ・静岡県において第1週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)急性呼吸器感染症(18.6)、2)インフルエンザ(6.94)、3)感染性胃腸炎(1.51)、4)新型コロナ(0.78)、5)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(0.36)、6)水痘(0.16)であった。

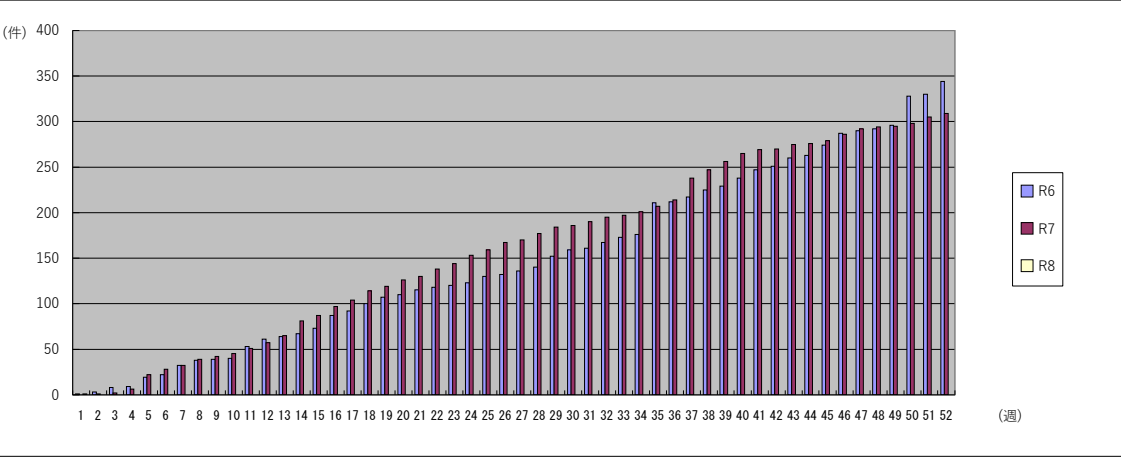
【インフルエンザ罹患数推移】



【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2025/2026シーズン)】 (令和7年第36週～)

週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R7年 第36週～第41週	静岡県	2			2
	静岡市				
	浜松市				
R7年 第42週～第45週	静岡県		13		2
	静岡市	1	2		
	浜松市	1	1		
R7年 第46週	静岡県		7		
	静岡市				
	浜松市		4		
R7年 第47週	静岡県				
	静岡市		2		
	浜松市		3		
R7年 第48週	静岡県		2		
	静岡市				
	浜松市		1		
R7年 第49週	静岡県				
	静岡市		1		
	浜松市		8		
R7年 第50週	静岡県				
	静岡市		1		
	浜松市		4		
R7年 第51週	静岡県	1	6		
	静岡市		2		
	浜松市		4		
R7年 第52週	静岡県				
	静岡市		1		
	浜松市		2		
R8年 第1週	静岡県		2		
	静岡市				
	浜松市				
合 計		5	66	0	4

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】
・第1週は1件であった(R7年は0件)。



急性呼吸器感染症（ARI）について

令和7年4月7日から急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスが始まりました。

急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスは、症例定義に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

平時から、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、県民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が5類感染症となりました。

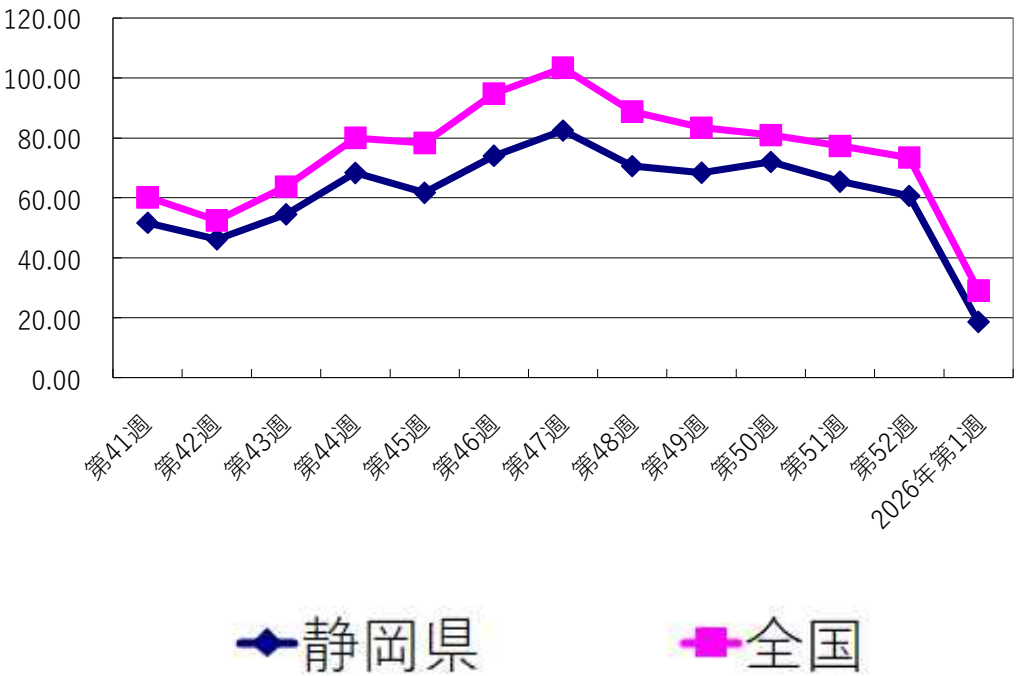
症例定義

咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ異常の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

急性呼吸器感染症(ARI)報告数

報告数は県内139の定点医療機関からの報告数です。

管轄保健所	報告数	定点当たり
県合計	2,585	18.60
賀茂	74	24.67
熱海	155	25.83
東部	318	15.90
御殿場	168	28.00
富士	137	9.13
静岡市	485	19.40
中部	311	18.29
西部	397	20.89
浜松市	540	19.29

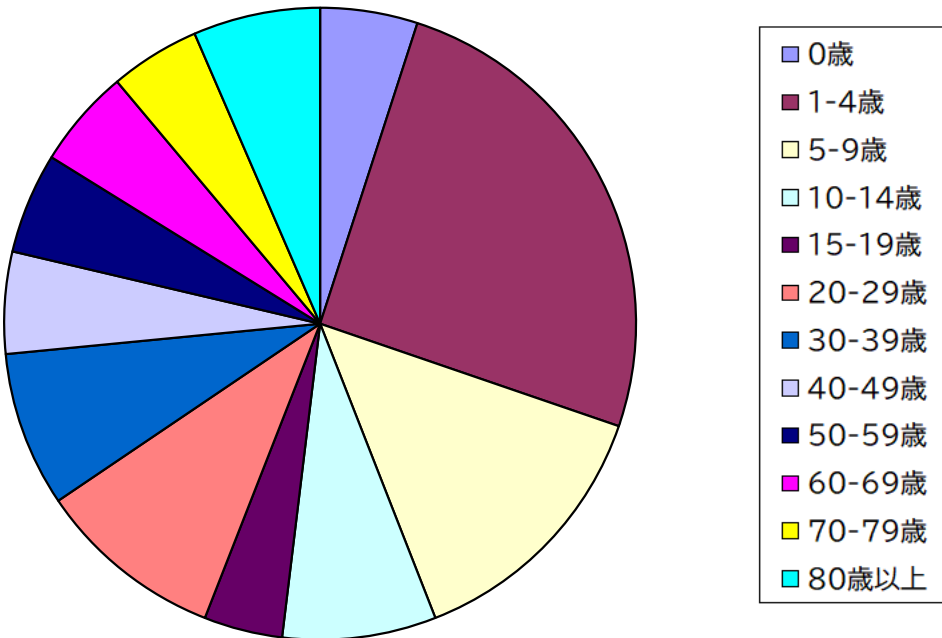
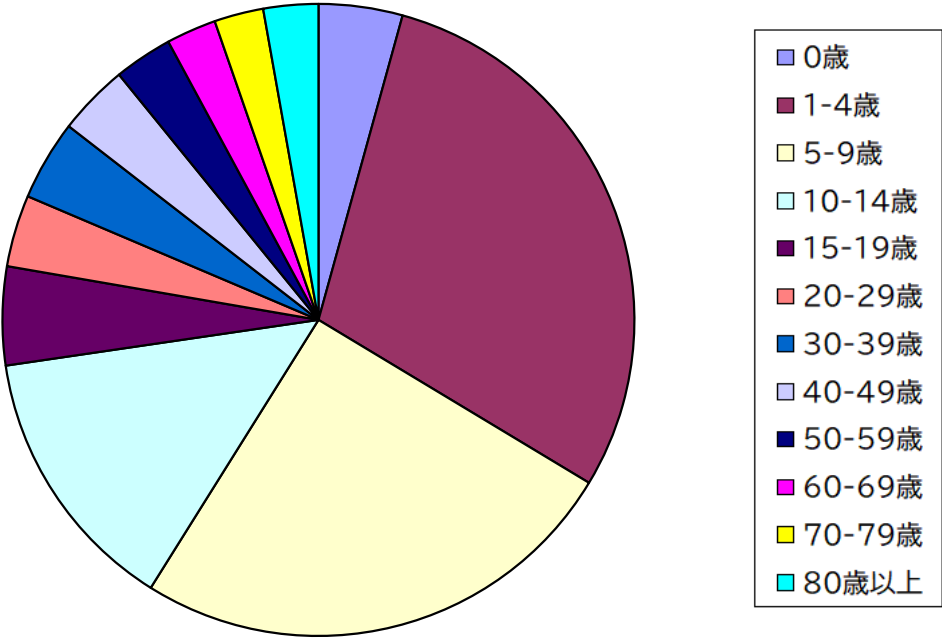


(全国 29.12)

	第41週	第42週	第43週	第44週	第45週	第46週	第47週	第48週	第49週	第50週	第51週	第52週	2026年第1週
静岡県	51.65	46.16	54.51	68.35	61.71	74.01	82.49	70.60	68.40	71.98	65.42	60.69	18.60
全国	60.20	52.48	63.74	80.02	78.35	94.77	103.38	88.80	83.42	80.96	77.34	73.43	29.12

急性呼吸器感染症(ARI)年齢別報告割合

2025年第41週～第52週の合計(10/6～12/28) 2026年第1週～合計(12/29～1/4)



年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳
合計割合	4.3%	29.3%	25.3%	13.8%	5.0%	3.7%

年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳
合計割合	5.0%	25.3%	13.8%	7.9%	4.0%	9.6%

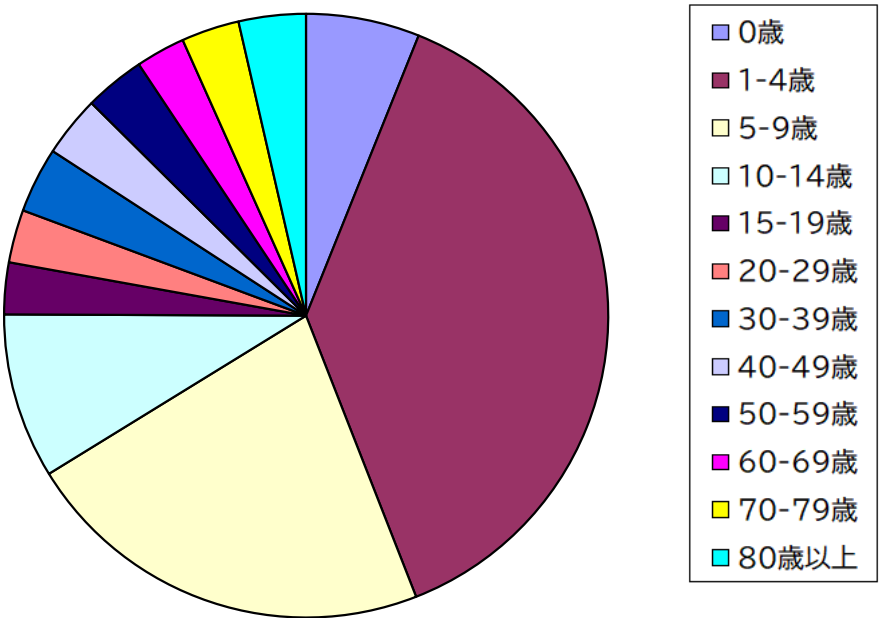
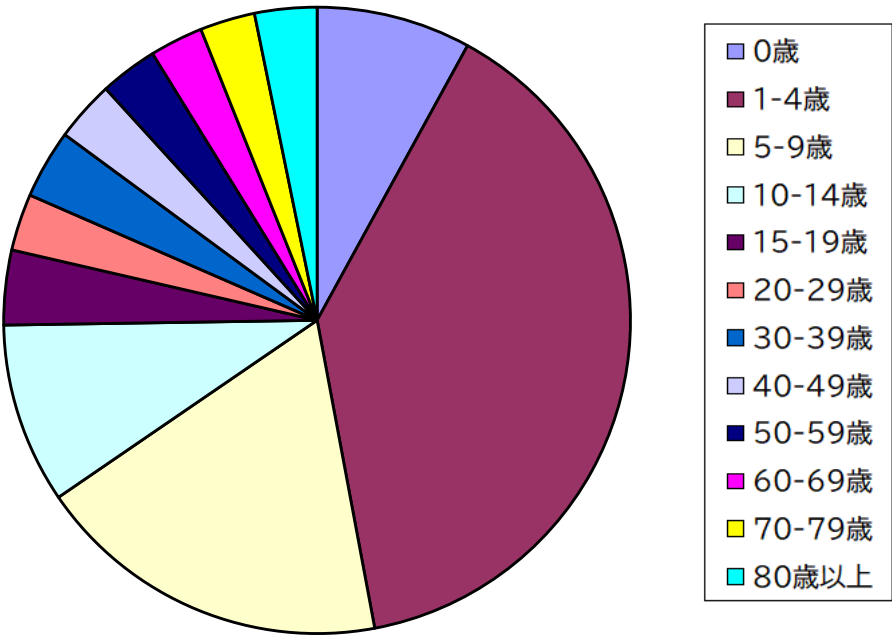
年齢	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
合計割合	4.1%	3.6%	3.0%	2.6%	2.5%	2.8%

年齢	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
合計割合	7.9%	5.2%	5.1%	5.1%	4.6%	6.5%

急性呼吸器感染症(ARI)年齢別報告割合

2025年第15週～第27週の合計(4/7～7/6)

2025年第28週～第40週の合計(7/7～10/5)



年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳
合計割合	7.8%	39.1%	18.7%	9.4%	3.8%	2.9%

年齢	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
合計割合	3.5%	3.1%	2.9%	2.7%	2.8%	3.2%

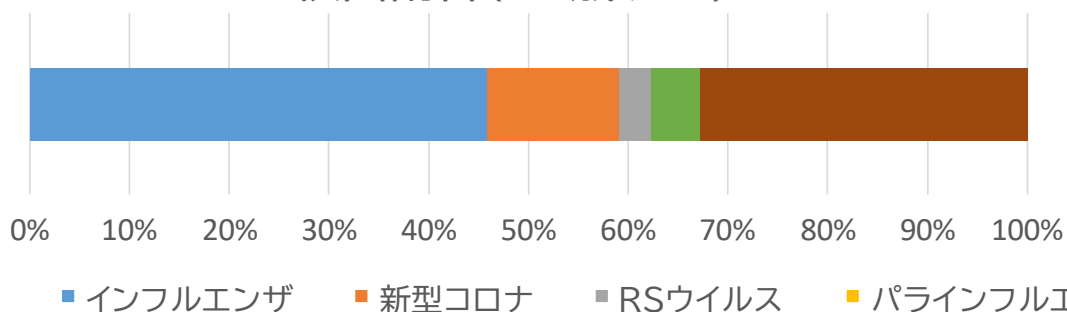
年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳
合計割合	6.1%	38.0%	22.2%	8.8%	2.8%	2.8%

年齢	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
合計割合	3.5%	3.3%	3.2%	2.6%	3.1%	3.6%

県内の急性呼吸器感染症病原体定点から提出された検体の 検査結果について (2026年第1週は検査を行っていないため今回の更新はありません)

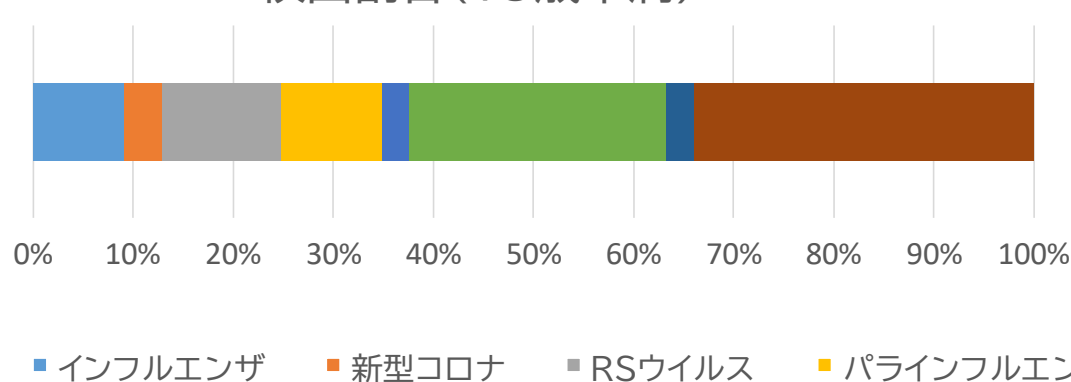
検出割合、検出数合計は2025年第41週～第52週の合計(10/6～12/28)

検出割合(18歳以上)



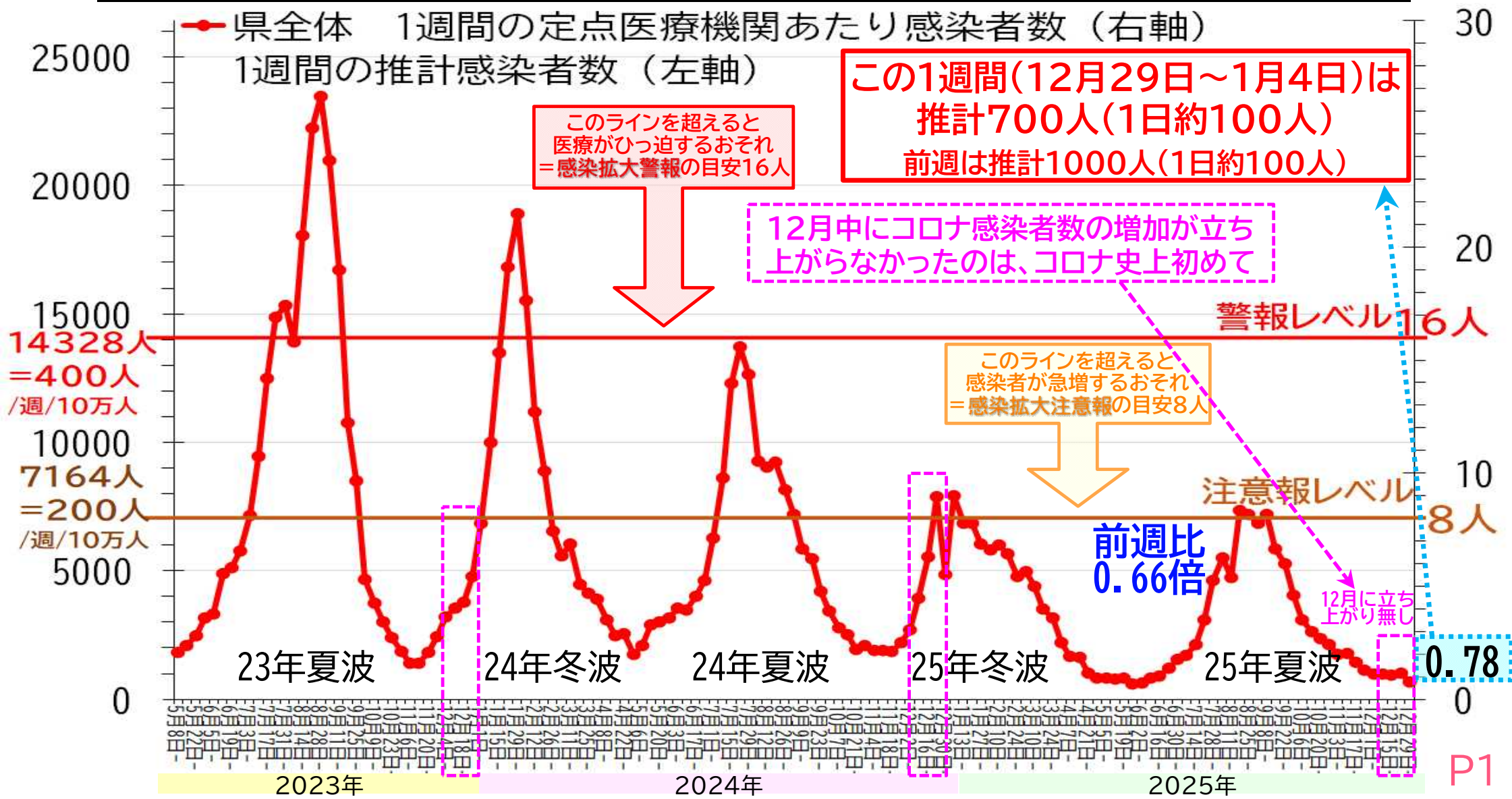
病原体	インフル エンザ	新型 コロナ	RS ウイルス	パライン フルエンザ	ヒトメタ ニューモ	ライノ/ エンテロ	アデノ	該当なし
検出割合	45.9%	13.1%	3.3%	0.0%	0.0%	4.9%	0.0%	32.8%
検出数合計	28	8	2	0	0	3	0	20
2025年 52週	12	0	0	0	0	0	0	3

検出割合(18歳未満)

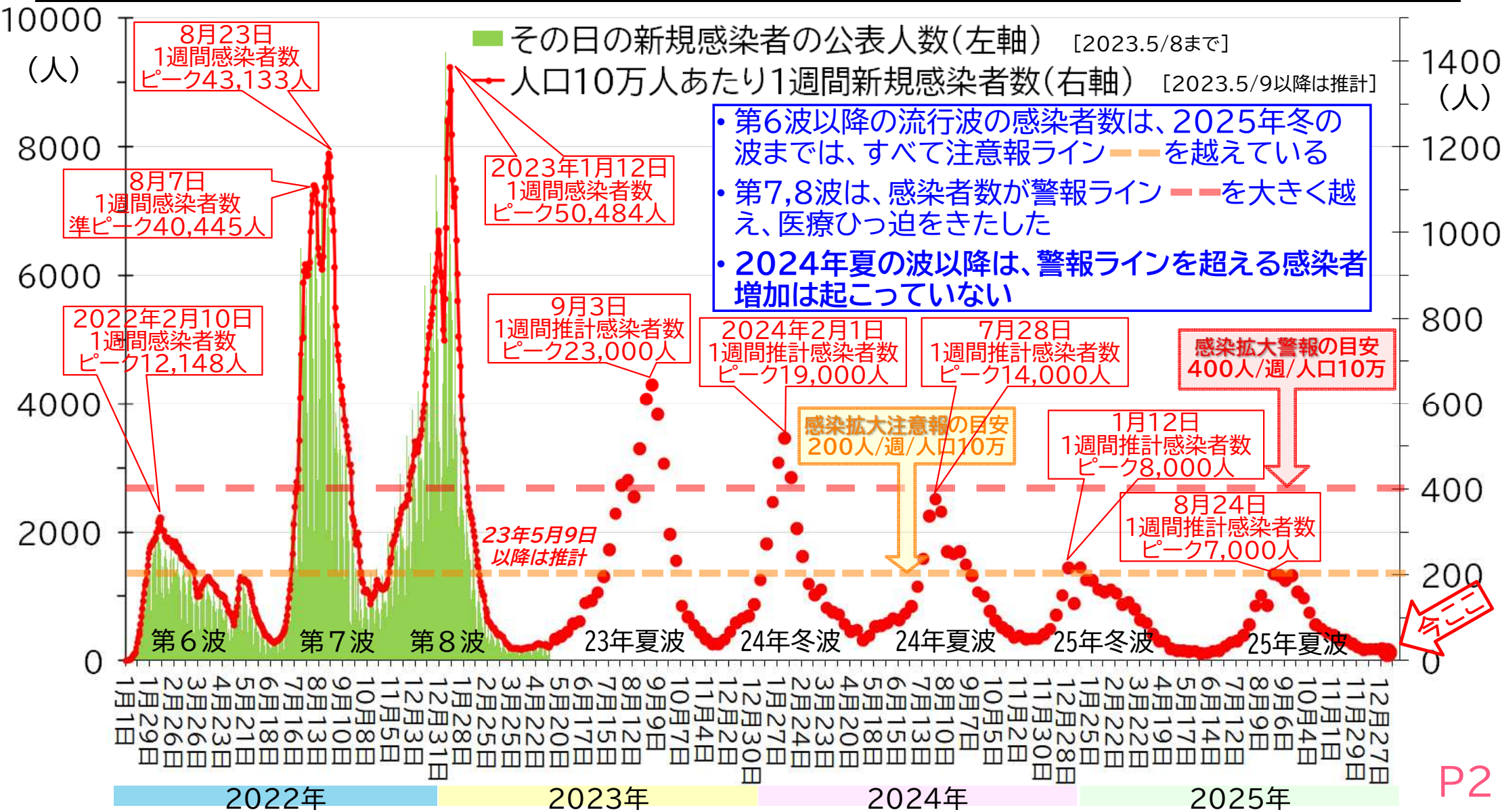


病原体	インフル エンザ	新型 コロナ	RS ウイルス	パライン フルエンザ	ヒトメタ ニューモ	ライノ/ エンテロ	アデノ	該当なし
検出割合	9.2%	3.7%	11.9%	10.1%	2.8%	25.7%	2.8%	33.9%
検出数合計	10	4	13	11	3	28	3	37
2025年 52週	2	0	0	0	0	5	0	5

静岡県 新型コロナ 1週間感染者数(2023.5/8~2026.1/4)

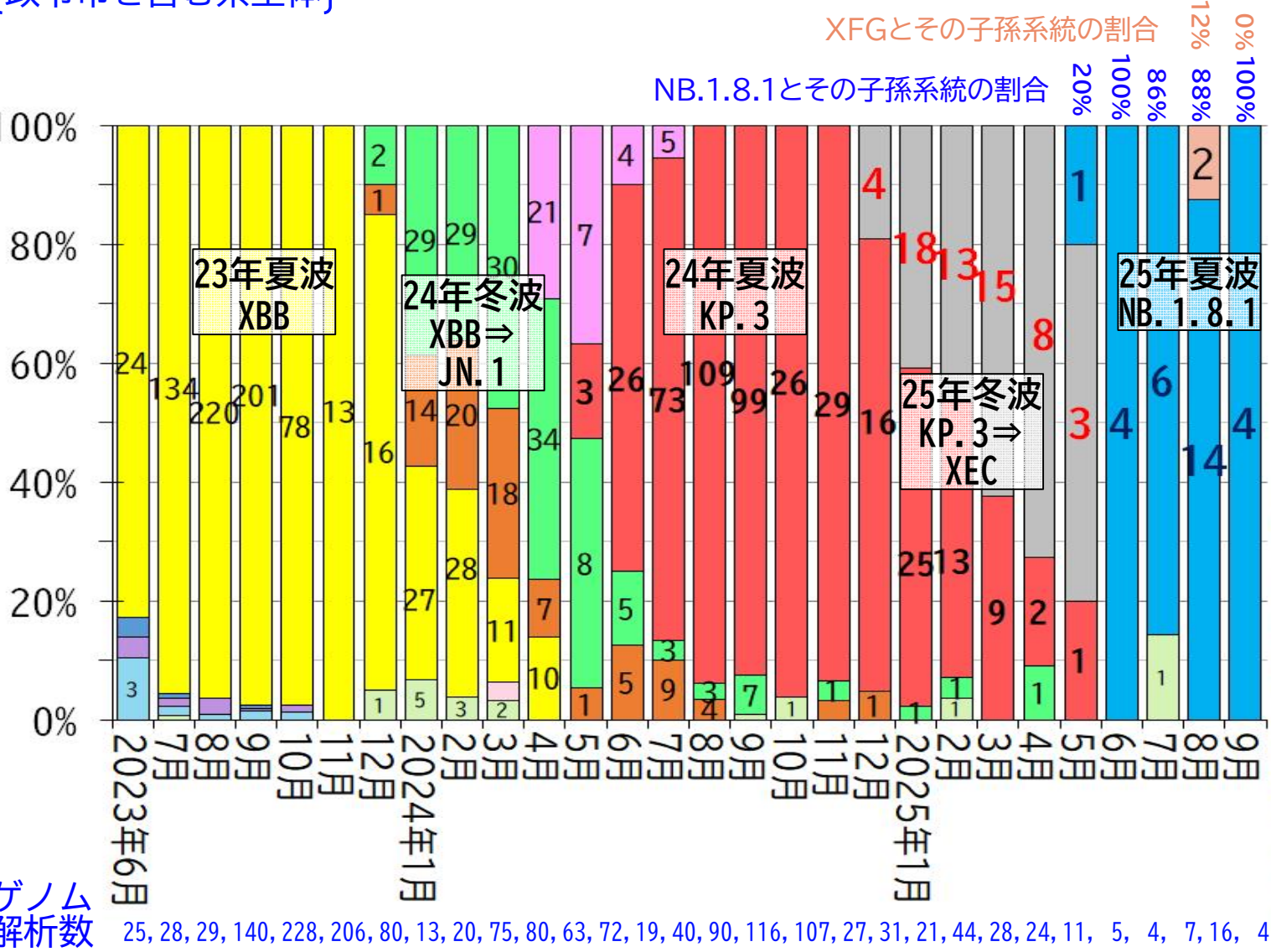


静岡県 新型コロナ オミクロン株以降の感染者数の推移 (2022.1/1~2026.1/4)



静岡県 新型コロナ オミクロン株の系統 月別状況 (2023.4月～2025.9月)

政令市を含む県全体



- WHOや国立感染症研究所が、中和抗体からの逃避や感染者数増加の優位性が示唆されなどで、動向を注視する必要があるとしたオミクロン株の系統等の検出状況を示す
- 直近(2025年9月)では県全体で、解析した4検体すべてがNB.1.8.1及びその子孫系統だった
- ゲノム解析結果は各月で示しているが、2024年度までは結果判明月で、25年度からは検体採取月で示す

■ XFGとその子孫系統

■ NB.1.8.1とその子孫系統

■ XECとその子孫系統

■ XDQ.1とその子孫系統

■ KP.3とその子孫系統

■ JN.1とその子孫系統

■ JN.1, KP.3以外のBA.2.86系統

■ XBB系統

■ BQ.1系統

■ BS.1系統

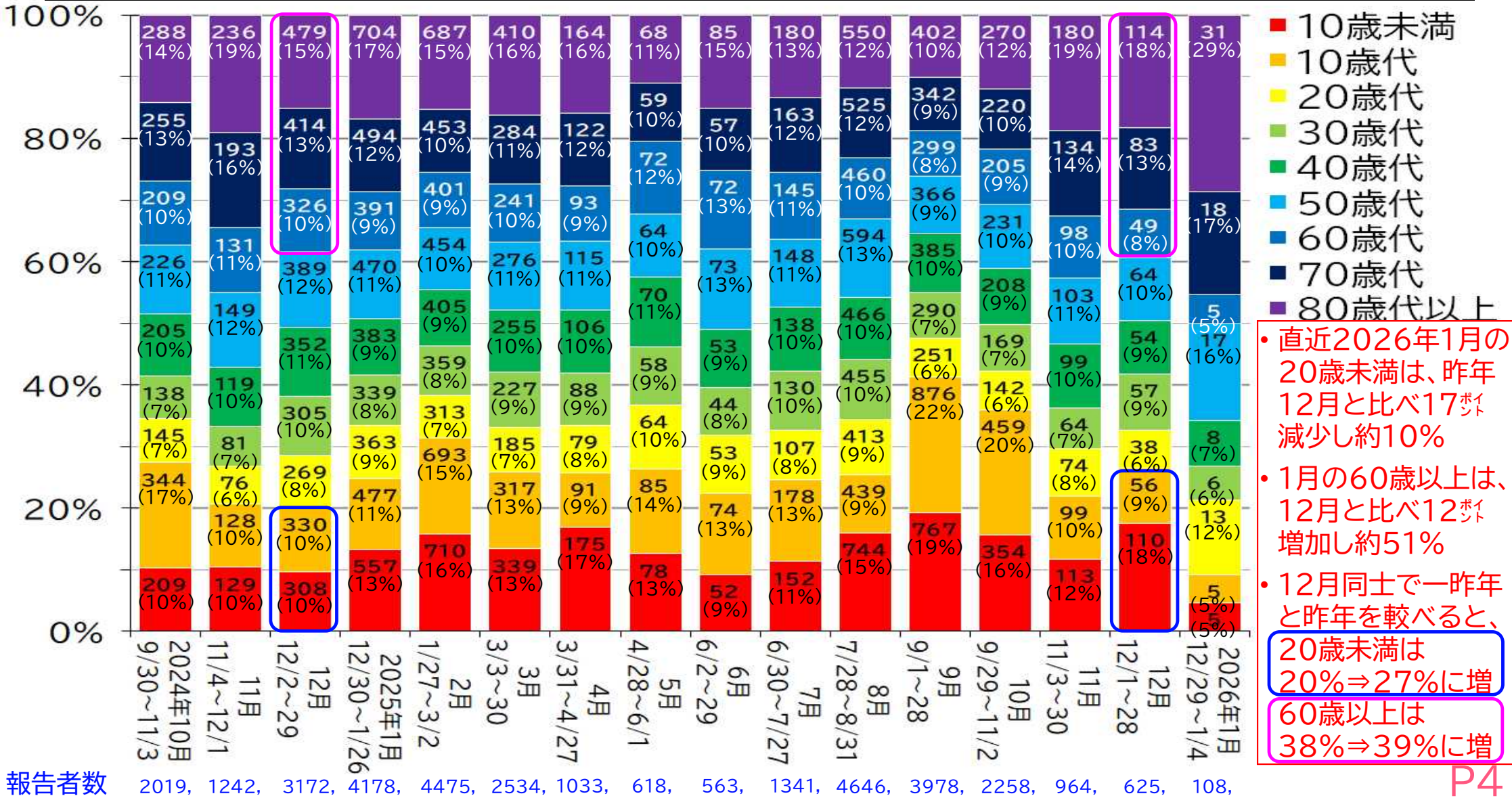
■ BA.2.75系統

■ その他のBA.5

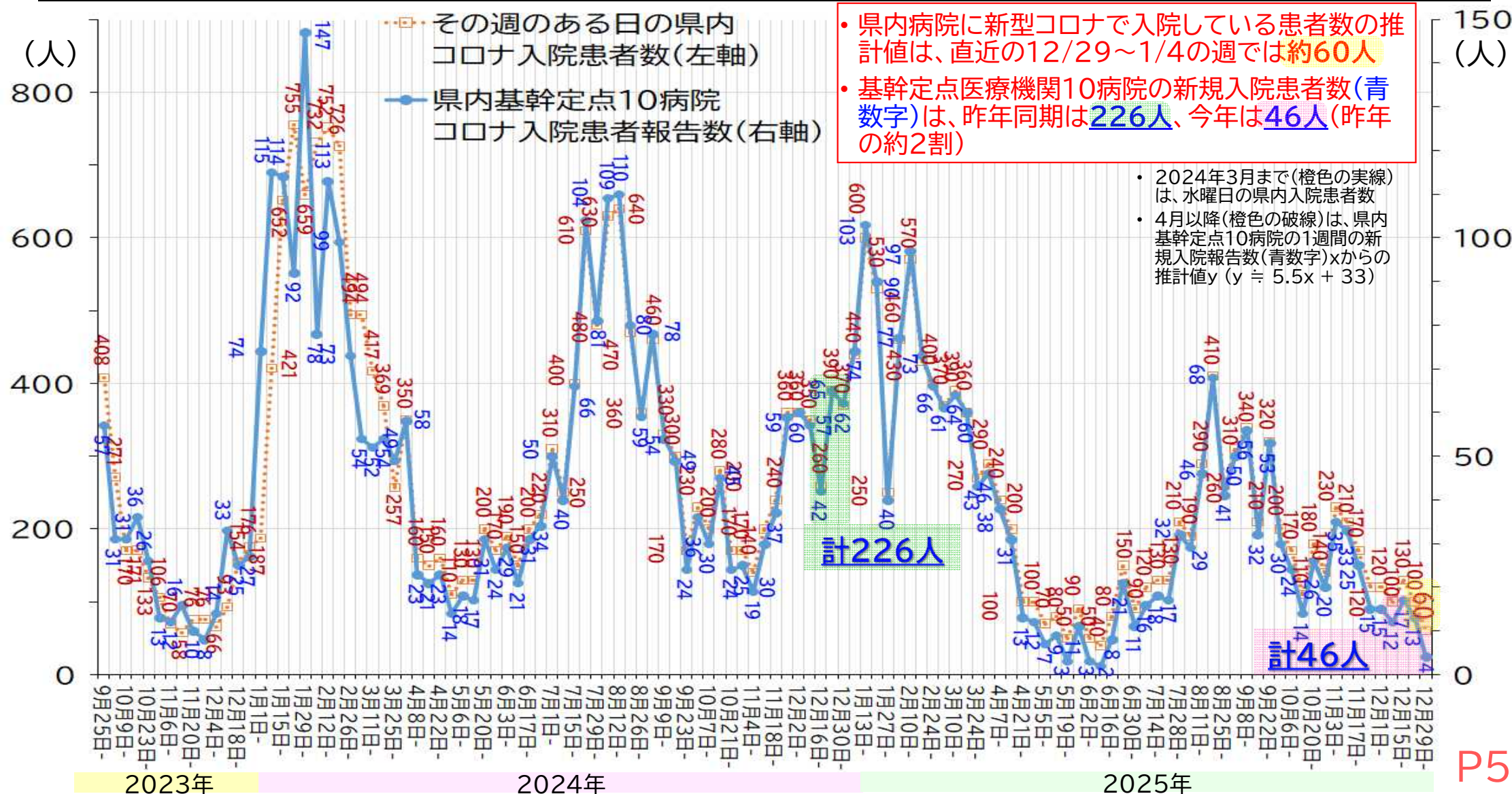
■ その他のBA.2

■ その他の組替体

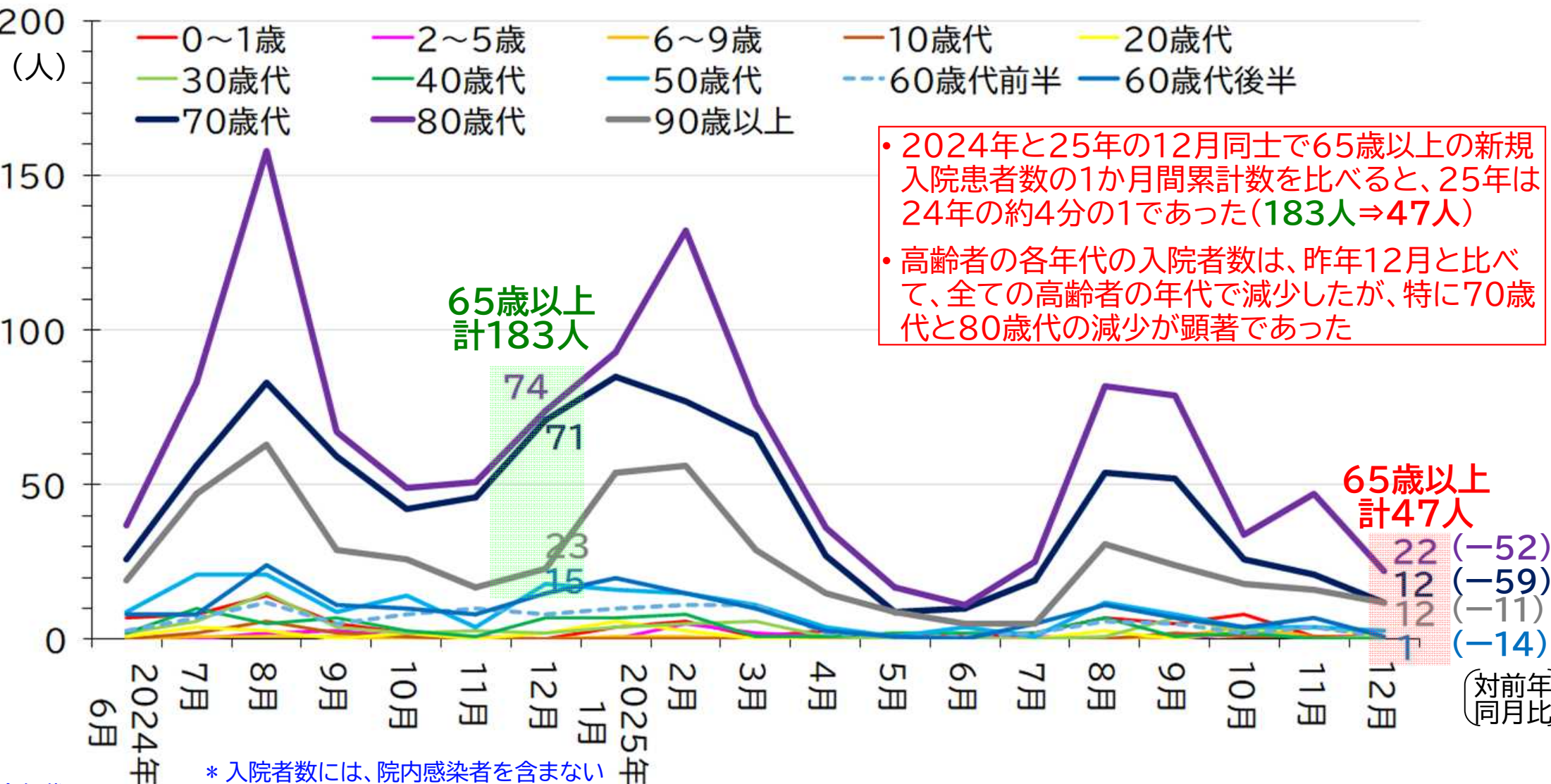
静岡県 新型コロナ 定点医療機関からの報告者数の年代別推移(2024. 9/30～2026. 1/4)



静岡県 新型コロナ入院患者数 おおまかな推計値 (2024. 4/1～2026. 1/4)



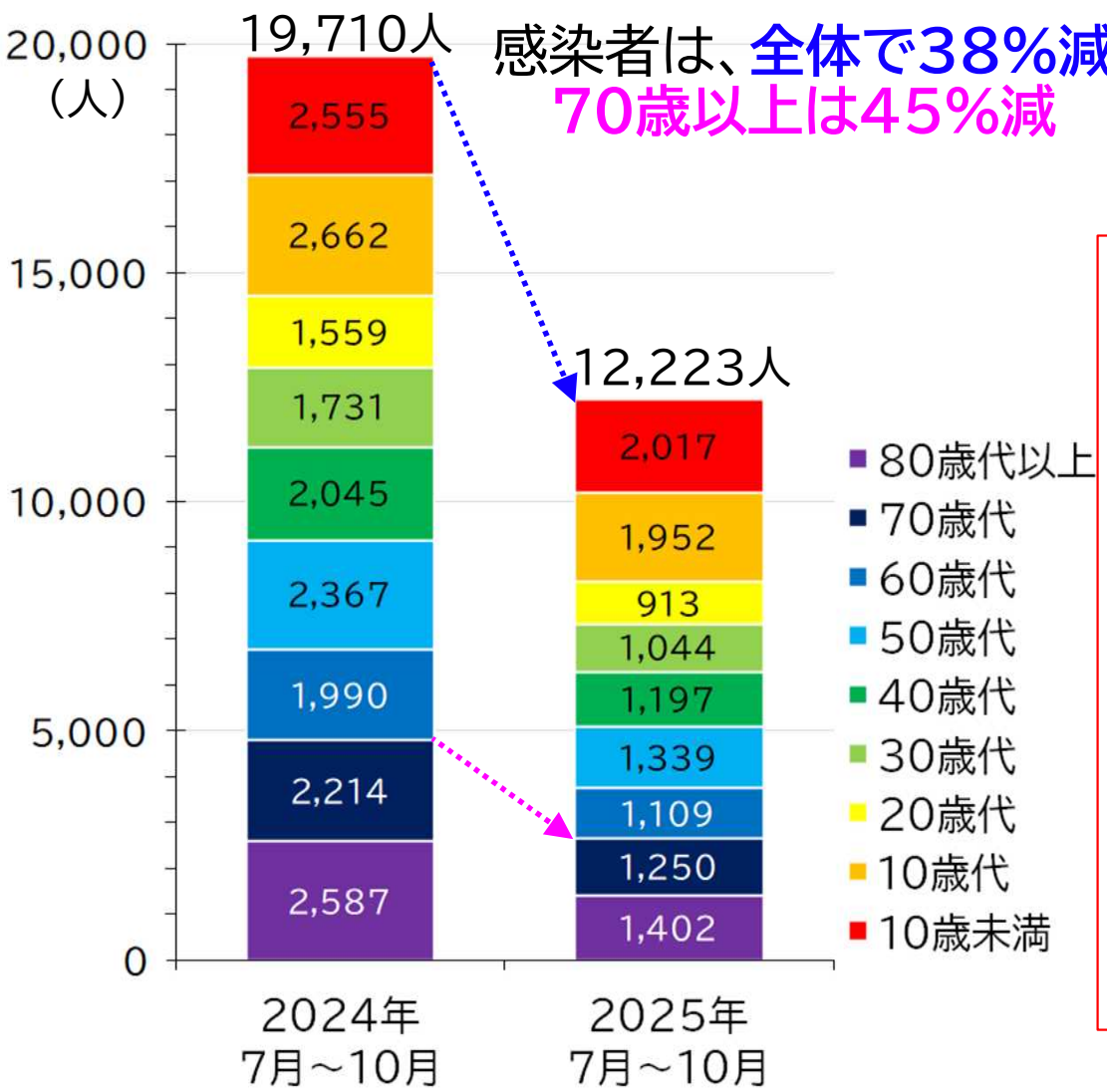
静岡県 基幹定点医療機関(10病院)のコロナ年代別新規入院患者数の推移(2024.6月～2025.12月)



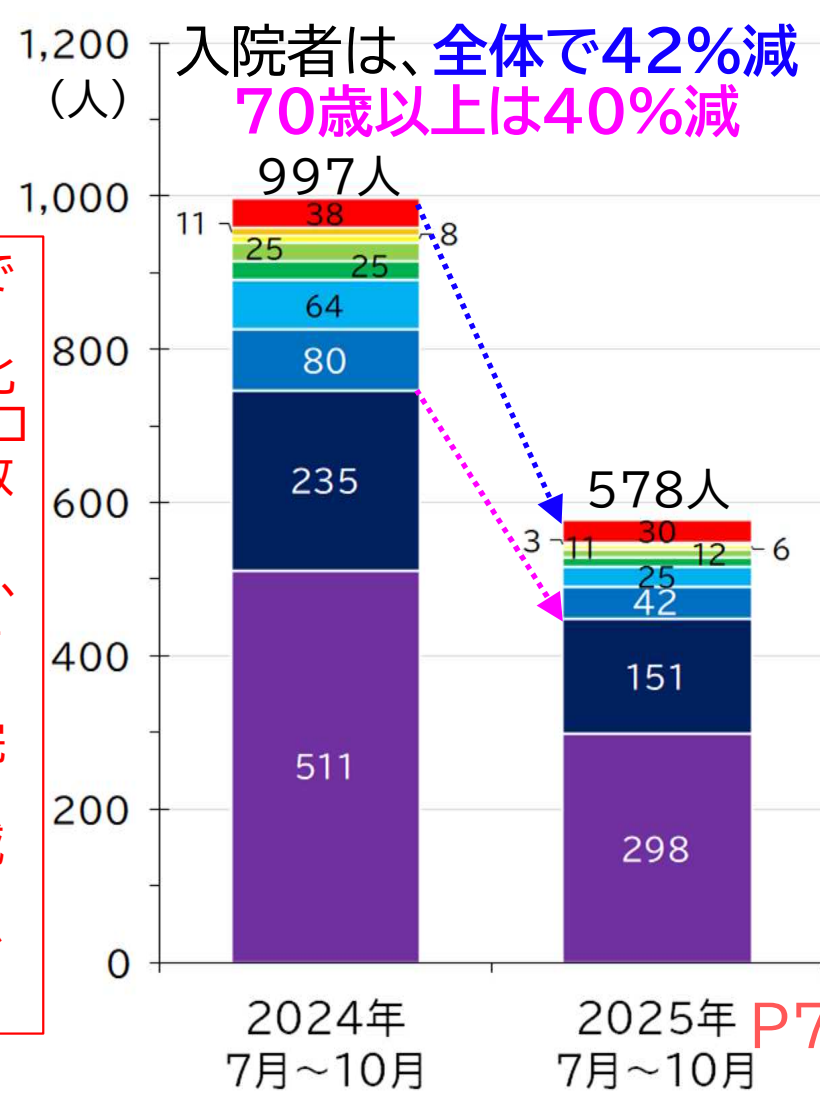
全年代の入院者数* 115, 253, 407, 203, 135, 166, 220, 300, 334, 213, 95, 42, 34, 62, 214, 191, 111, 106, 54, P6

静岡県 新型コロナ 定点医療機関の2025年夏と2024年夏の感染者数・入院者数の比較

【県内139定点医療機関の感染者総数】

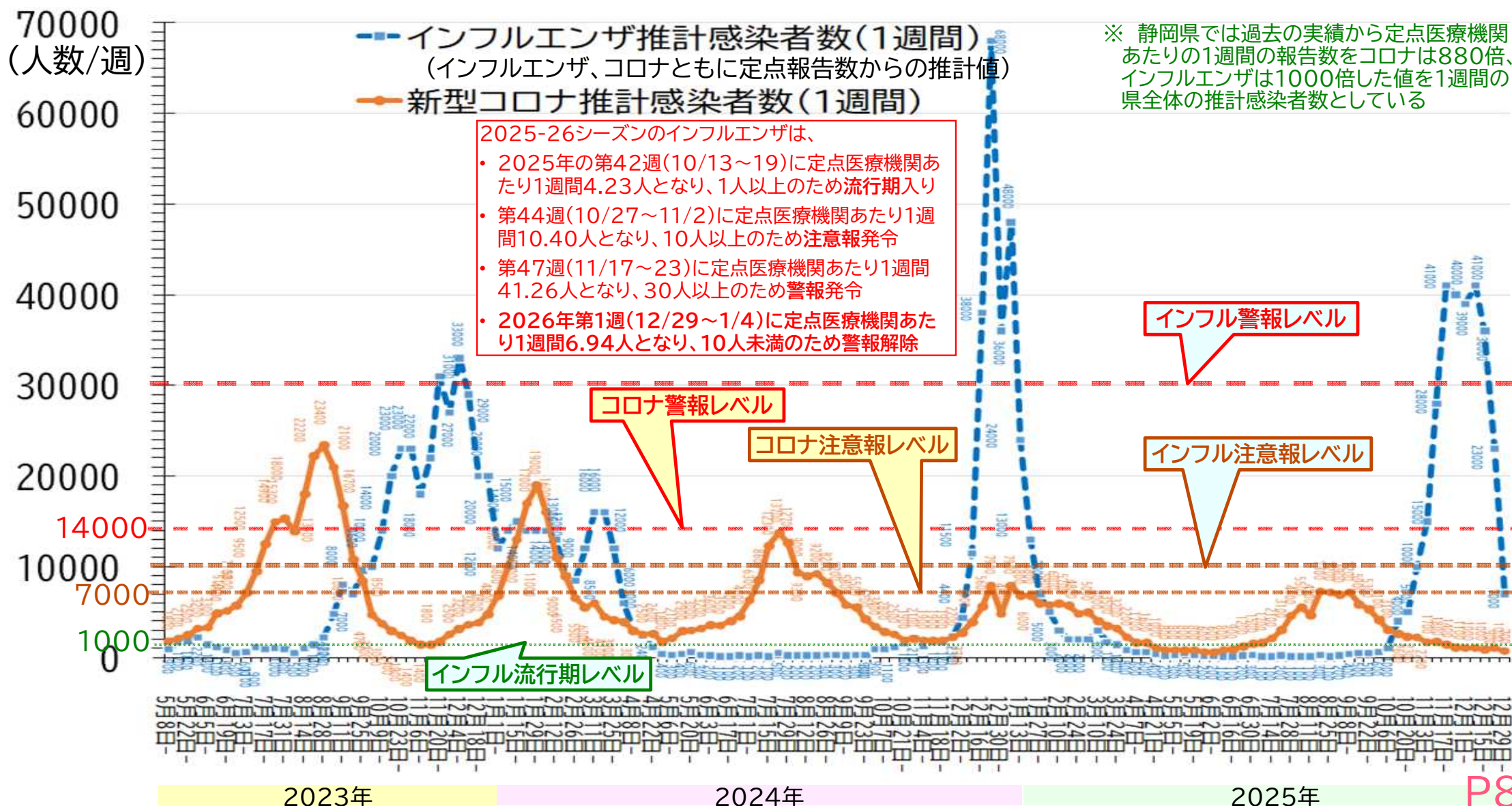


【県内10基幹定点医療機関の入院者総数】

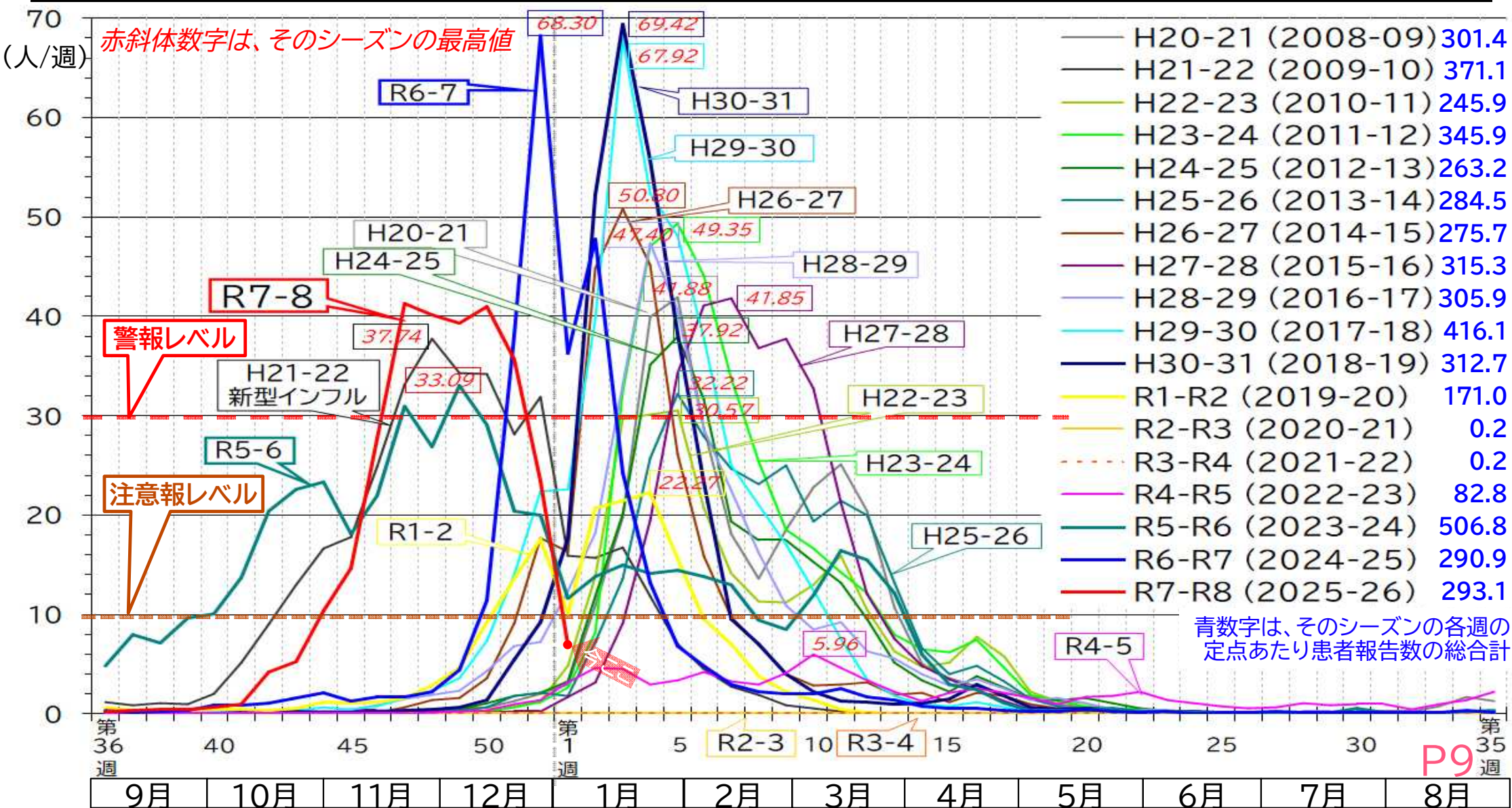


- 夏の流行期で2025年を2024年と比較すると、コロナの感染者数は、全体では約4割減少し、高齢者も約4割減少した
- コロナの入院者数も、全体では約4割減少し、高齢者も約4割減少した

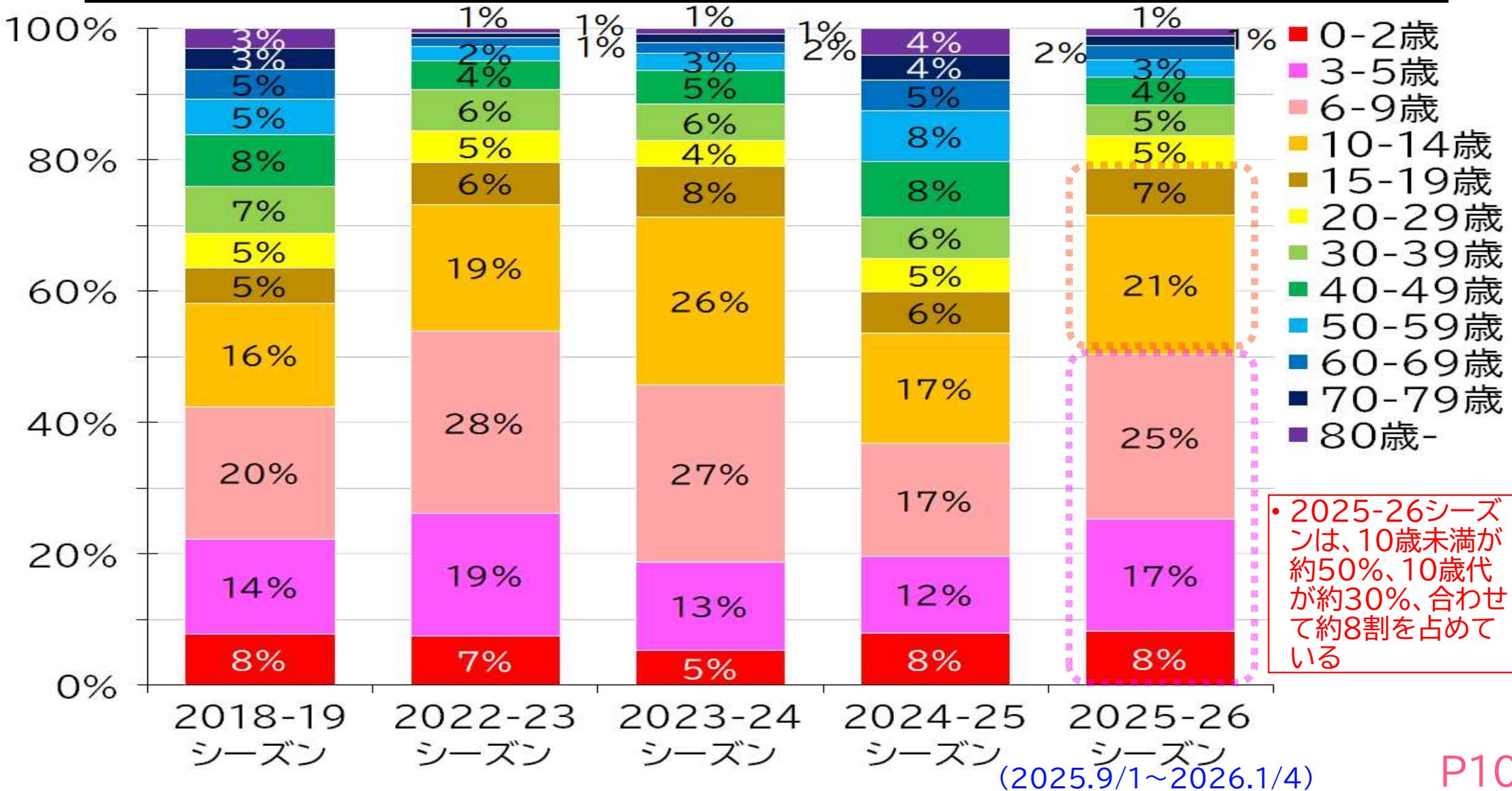
静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況 (2023.5/8～2026.1/4)



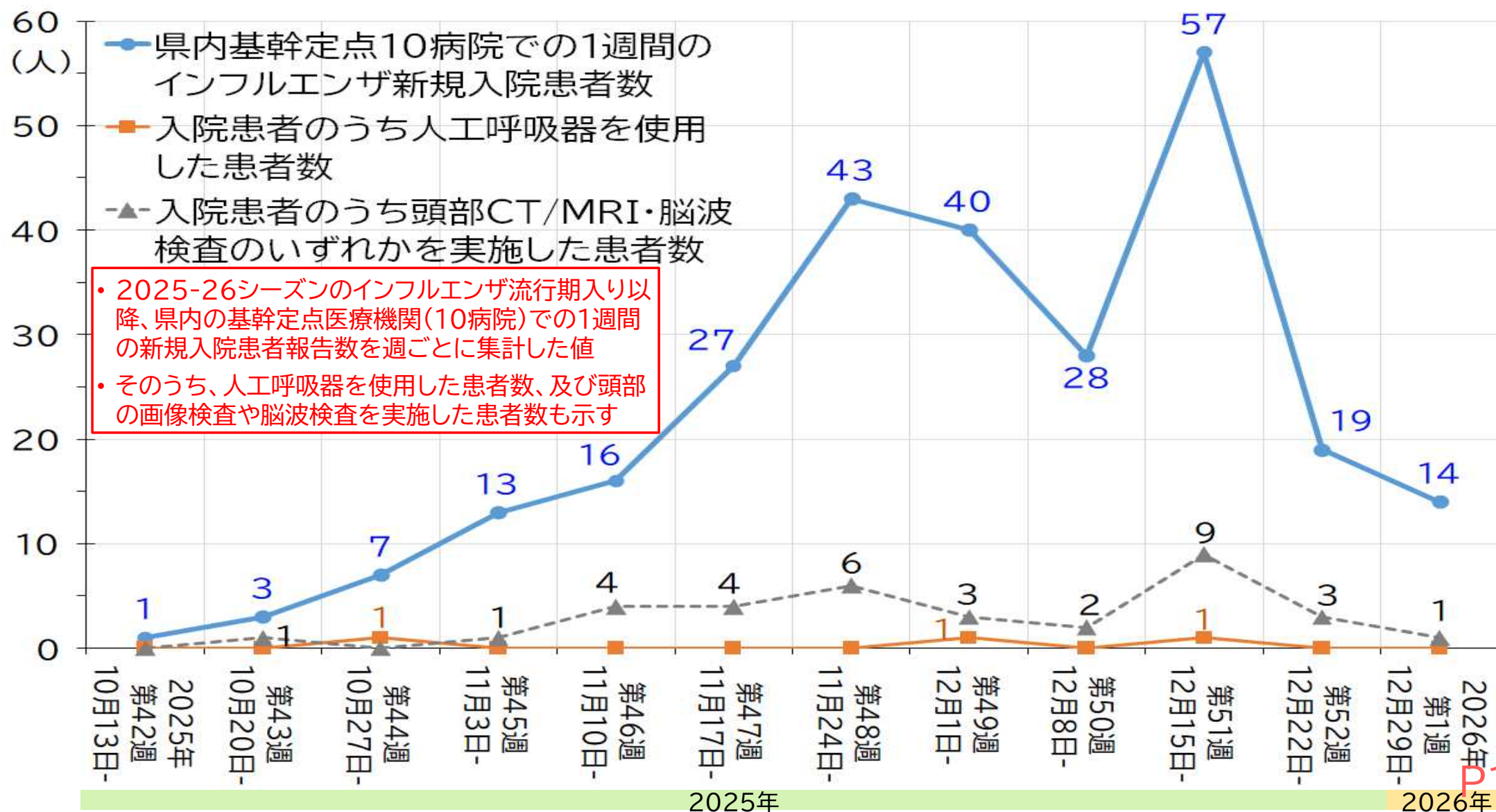
静岡県 インフルエンザ 定点医療機関からの患者報告数 今季と過去17季の比較



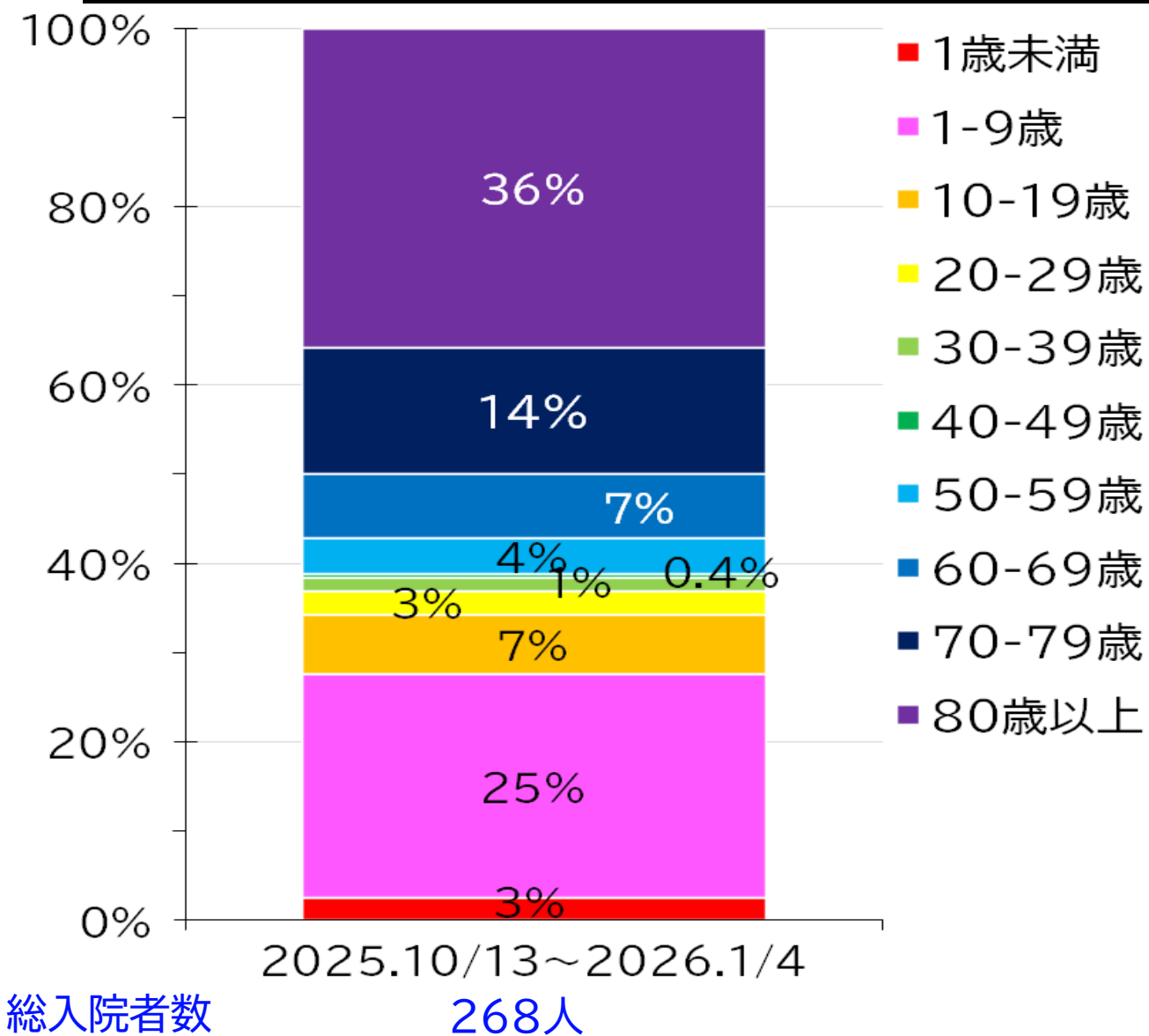
静岡県 インフルエンザ 近年5シーズンの報告患者の年齢分布



静岡県 インフルエンザ 基幹定点病院での新規入院患者数の推移(2025.10/13～2026.1/4)



静岡県 インフルエンザ 基幹定点病院での新規入院患者年齢分布(2025.10/13～2026.1/4)

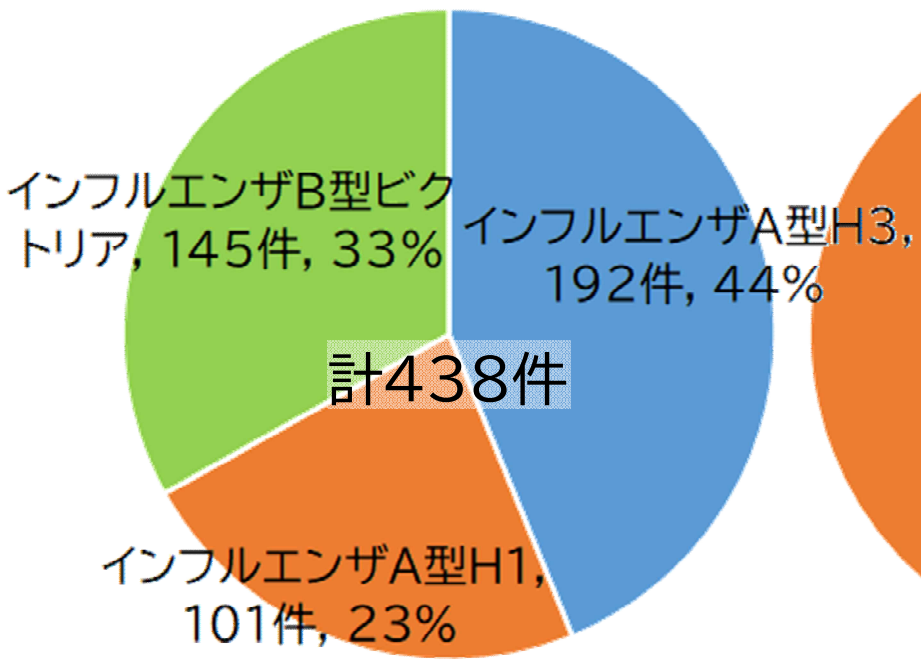


- 今シーズン(2025-26シーズン)のインフルエンザ流行期における、県内の基幹定点医療機関(10病院)での1週間新規入院患者を累計した集団の年齢分布
- 80歳以上が最多で全体の約4割を占め、次いで1-9歳が多く約4分の1
- 70歳以上が、半数を占めている
- 20歳未満は、約3分の1を占めている

静岡県内衛生研究所(県, 静岡市, 浜松市) インフルエンザウイルス型別検出の状況(2023. 10/2～2026. 1/4)

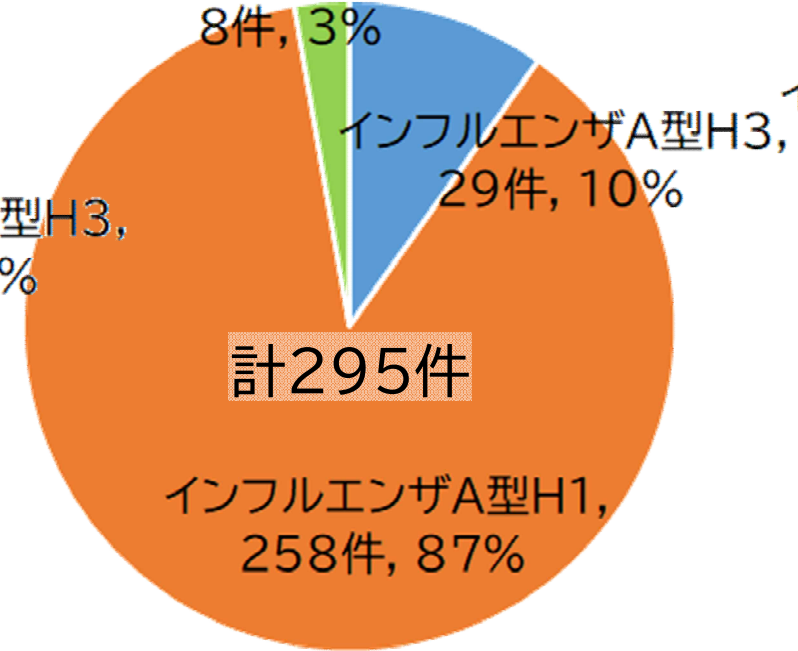
2023-24シーズン

2023年 第40～52週,
+ 2024年 第1～22週
(2023.10/2～2024.6/2)



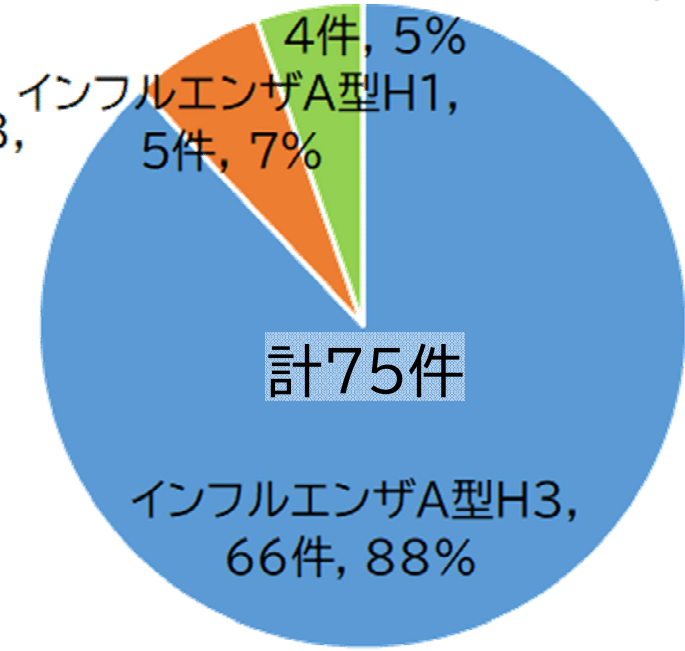
2024-25シーズン

2024年 第36～52週,
+ 2025年 第1～14週
(2024.9/2～2025.4/6)
インフルエンザB型ビクトリア,



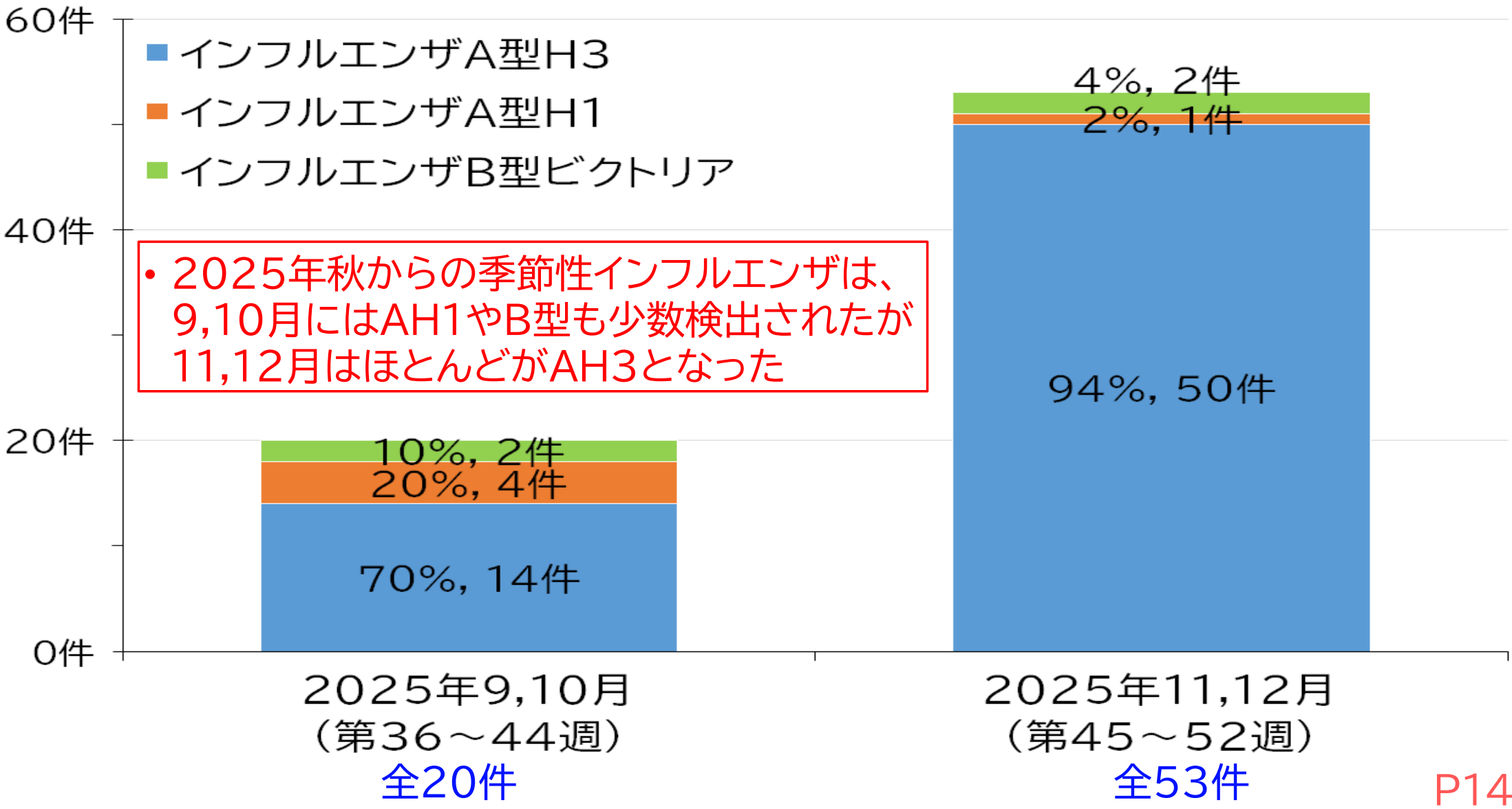
2025-26シーズン

2025年 第36～52週,
+ 2026年 第1週
(2025.9/1～2026.1/4)
インフルエンザB型ビクトリア,



• 2025年秋からの季節性インフルエンザは、昨シーズンとは異なり、インフルエンザA型H3が主体で流行が始まり、約9割を占めている

静岡県内衛生研究所(県, 静岡市, 浜松市) 2025-26シーズン インフルエンザウイルス型別検出の状況

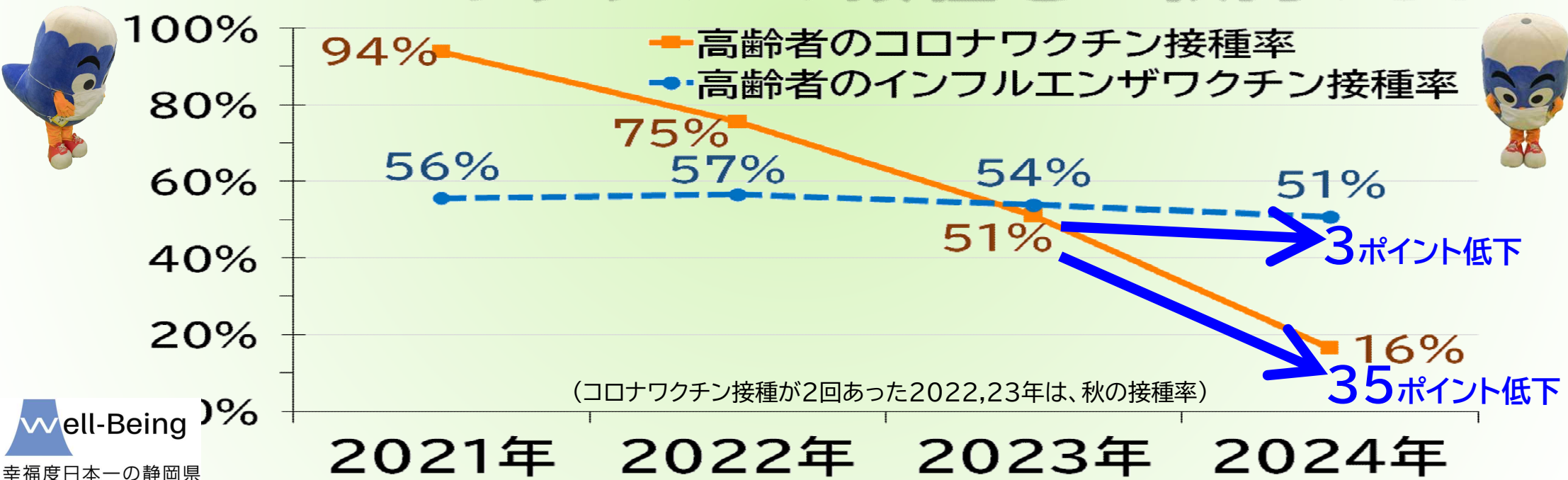


県内インフルエンザ**警報**解除も

しばらくは**4つのお願い**

1. **医療機関**や**高齢者施設**の**受診**や**面会**時は、
できるだけ**マスク着用**をお願いします！
2. **体調**に少しでも**違和感**（だるさ、寒気）が
ある時は、**人と会う時にマスク着用**を！
3. **急に症状**（**熱・頭痛・のど痛**）が出た時は、
学校や仕事をすぐに**休んで療養**を！
4. 人が集まる所では、**換気**、**手洗い**と**咳エチケット**（**咳くしゃみ時は口鼻をおおう**）を！

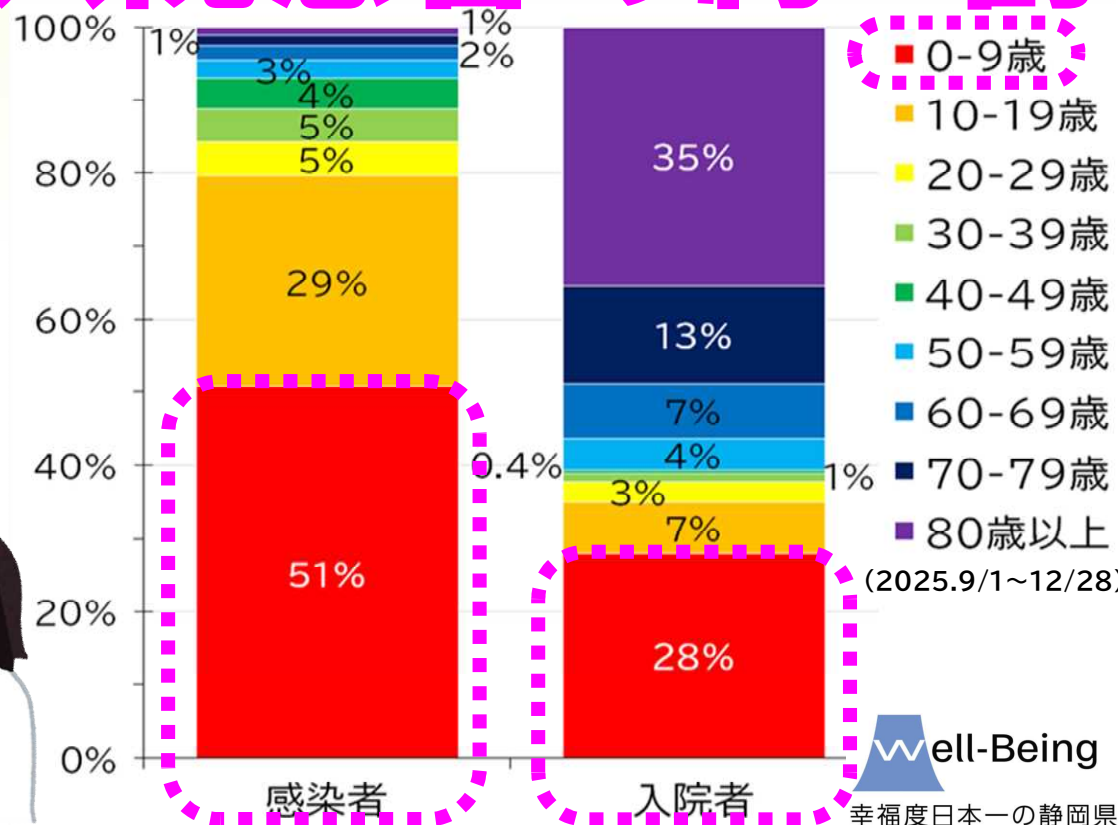
県内は昨秋，コロナワクチンもインフルエンザ
ワクチンも**高齢者の接種率が低下**しました
昨年末～今年正月のような，**インフルエンザ
とコロナの同時流行**による医療の負担を減らす
ためにも，**両ワクチンの接種をご検討**ください



今シーズンのインフルエンザは
静岡県では**10歳未満の子どもが**
感染者の約5割、入院患者の約3割
を占めています！



生後6か月以上の
子どものインフル
エンザワクチン
の接種をぜひ
ご検討ください



急病センターや**当番医**を受診



しよつか迷ったら...



救急車を呼ぼうか迷ったら...

15歳以上は **#7 1 1 9**

15歳未満は **#8 0 0 0**



で電話相談を!

麻疹(はしか)って、どんな感染症？

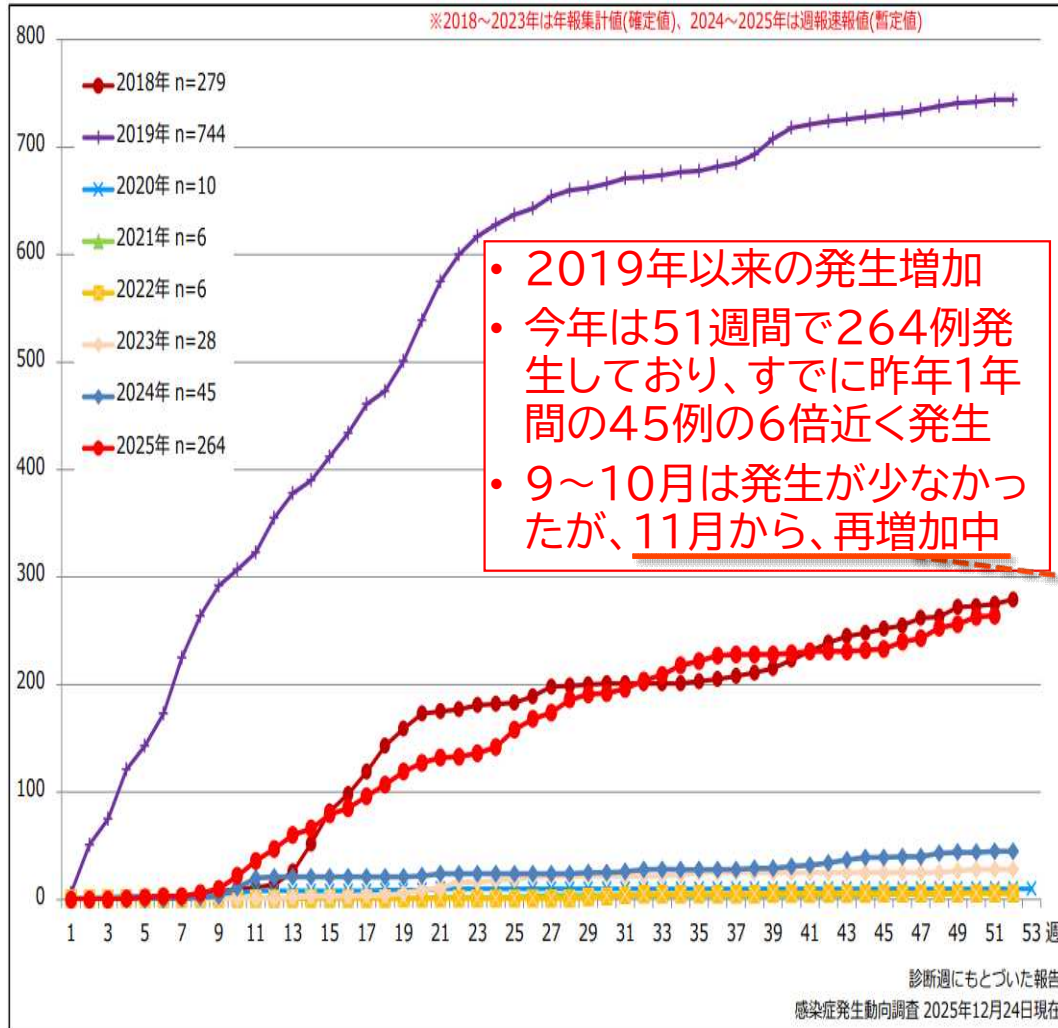
- **感染力最強ウイルス**で、感染者1人から未感染者約15人に感染し(コロナの5倍)、ほぼ全員が発症
- **空気感染**するので、同じ空間にいただけで感染
- **治療薬は無し**(抗麻疹ウイルス薬なし)
- **ワクチンあり**(麻疹・風疹定期接種2回:1歳と5歳)
- 感染者**数100人に1人は死亡**(江戸時代は「命定め」)
- 症状は、高熱・咳鼻水・目の充血⇒赤いヒョウ柄発疹が顔から全身へ、**消耗が激しくほとんどが入院**
- 合併症は、**中耳炎(7%)、肺炎(6%)、脳炎(0.1%)**等

麻疹の詳細は、JIHS(国立健康危機管理研究機構)の感染症情報提供サイトへ
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ma/measles/010/measles.html>

麻疹 今年の国内発生状況①(国立健康危機管理研究機構のサイトより)

1. 麻疹累積報告数の推移 2018~2025年(第1~51週)(2025年は12月21日まで)

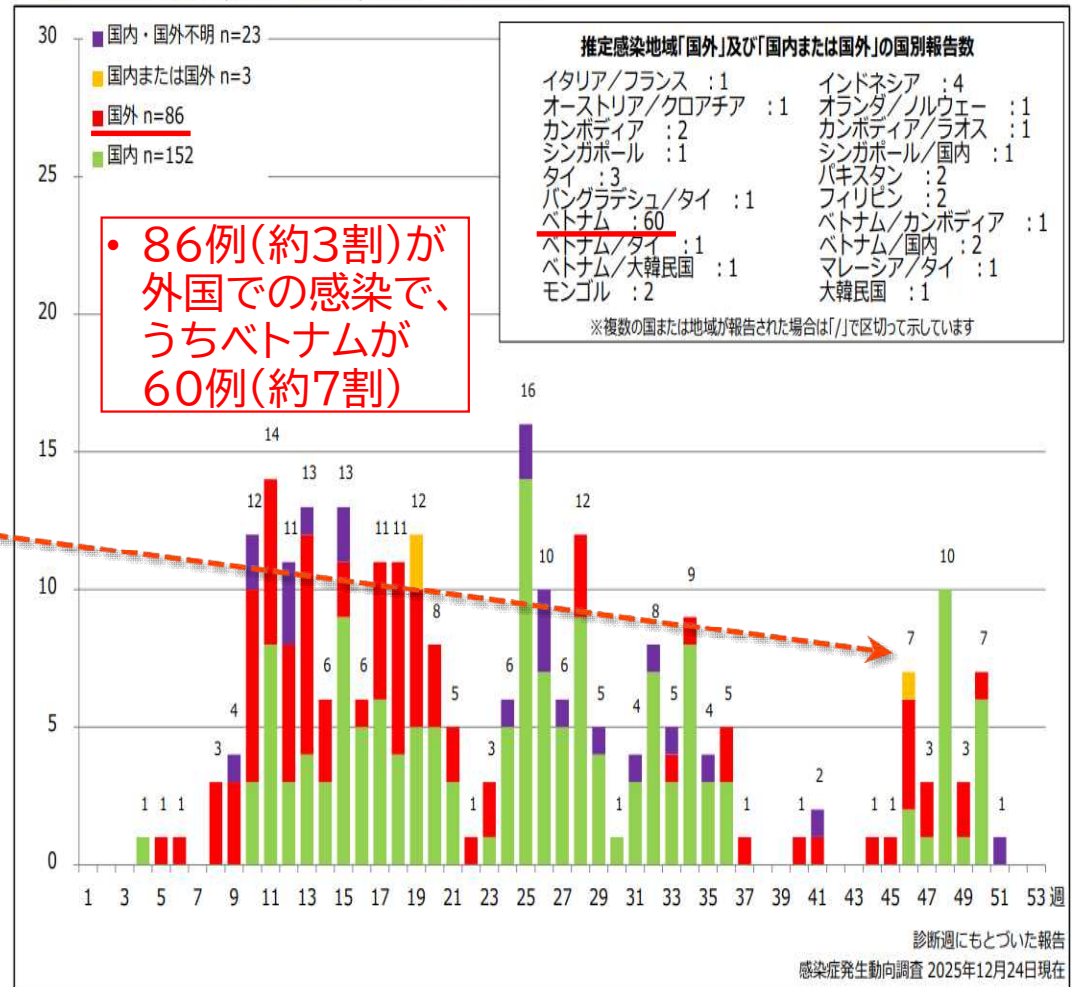
Cumulative measles cases by week, 2018-2025 (week 1-51) (based on diagnosed week as of December 24, 2025)



8. 週別推定感染地域(国内・外)別麻疹報告数 2025年 第1~51週 (n=264)(2024年12月30日~25年12月21日)

Weekly measles cases by acquired region, week 1-51, 2025 (based on diagnosed week as of December 24, 2025)

Domestic Imported Unspecified Unknown



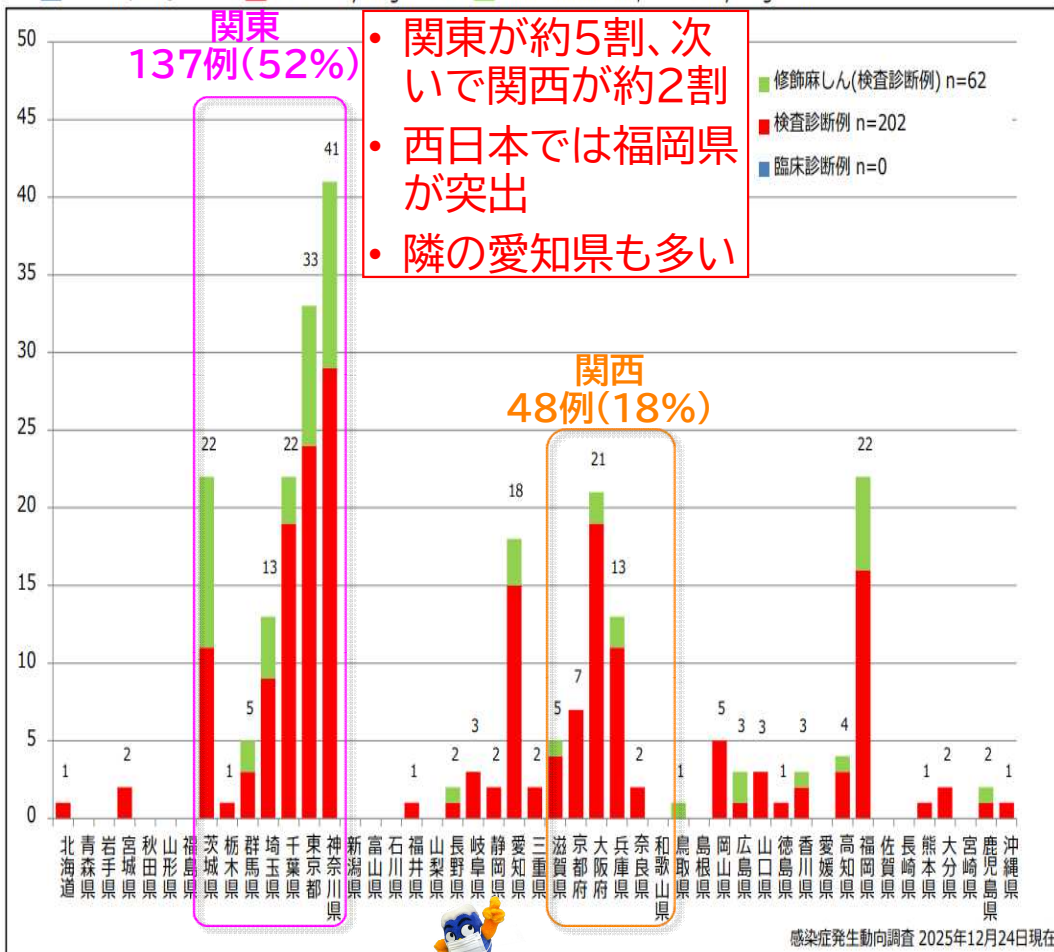
<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-51.pdf> より

麻疹 今年の国内発生状況②(国立健康危機管理研究機構のサイトより)

4. 都道府県別病型別麻疹累積報告数 2025年 第1~51週 (n=264) (2024年12月30日~25年12月21日) 6. 年齢群別接種歴別麻疹累積報告数 2025年 第1~51週 (n=264)(2024年12月30日~25年12月21日)

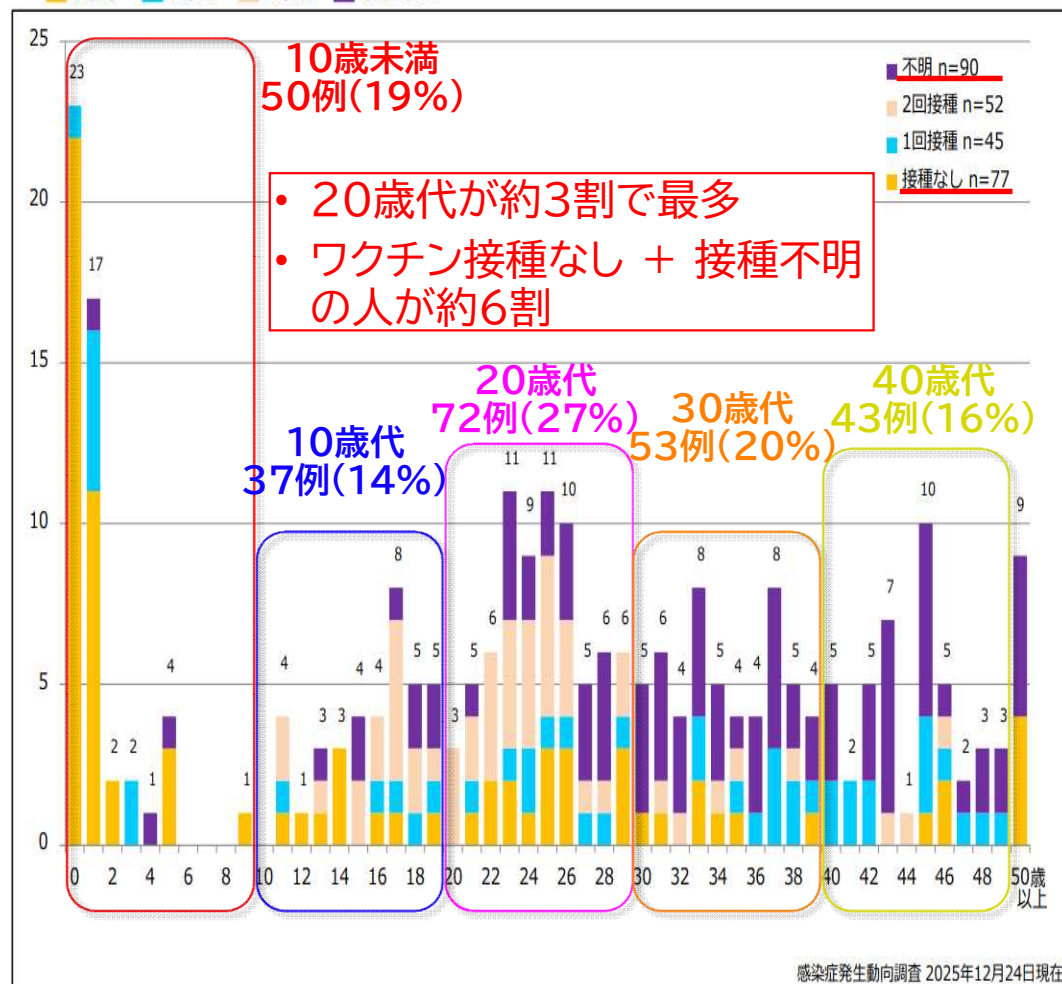
Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-51, 2025 (as of December 24, 2025)

■ Clinically diagnosed ■ Laboratory diagnosed ■ Modified measles, Laboratory diagnosed



Cumulative measles cases by age and vaccinated status, week 1-51, 2025 (as of December 24, 2025)

■ None ■ MCV1 ■ MCV2 ■ Unknown



<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-51.pdf> より

P21

麻疹に関して県感染症管理センターからのお願い

- **1歳の誕生日がきたら、麻疹・風疹混合(MR)ワクチンをすぐにうつ！**
- 40歳代以下の方は、**母子手帳で、自分の麻疹ワクチン接種回数を確認し、0回・1回の方は接種(自費)の検討を！**
 - ※特に、
首都圏・近畿によく行く人
海外、特にベトナムに行く人
外国から来た人とよく接する人

破傷風トキソイドの一部出荷停止について

令和7年7月上旬から、破傷風トキソイドの一部製品について供給が不安定となっており、医療機関において、破傷風トキソイドの入手が困難となっている可能性があります。

破傷風トキソイドは、破傷風菌の毒素を中和し、重症化を防ぐことができるため、怪我をして、傷が深い場合や、汚染されている場合等に、破傷風の発症リスクを減らすために使われることがあります。

年始は様々な場所に観光等に行く機会が増える時期ですが、**県民の皆様におかれましては、引き続き、怪我に気を付けていただき、安全に過ごしていただきますようお願い致します。**

破傷風とは

土壌や動物の糞便などに存在する破傷風菌が原因で、菌が産生する毒素により、筋肉の麻痺やけいれんを起こし、死亡することもあります。多くは、動物に咬まれた傷や、土や砂で汚れた深い傷から破傷風菌が入って感染します。人から人への感染はありません。潜伏期間は3～21日で平均10日です。国内で年間100人程度の感染者が確認されており、2026年は、第1週(～1月4日)までに全国で1人、本県は0人です。
(2025年 全国94人、本県2人)

感染症発生動向調査における特記事項欄コメント

第 1 週 令和7年12月29日 ~ 令和8年1月4日

今週の特記事項欄コメントの報告数上位

1	インフルエンザA型	136名
2	インフルエンザB型	18名
3	マイコプラズマ肺炎	8名

保健所	医療機関名	感染症名	報告数	備考
熱海	高野医院	急性呼吸器感染症	61	
熱海	高野医院	新型コロナウイルス感染症	4	
熱海	高野医院	インフルエンザA型	17	
熱海	高野医院	インフルエンザB型	3	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	インフルエンザA型	10	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	マイコプラズマ肺炎	1	
東部	医療法人社団真理会 光ヶ丘小児科	ノロウイルス	2	
東部	窪田医院	インフルエンザA型	2	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	手足口病	1	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	インフルエンザA型	22	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	マイコプラズマ肺炎	2	
東部	医療法人社団真理会 函南平出クリニック	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	1	
御殿場	公益社団法人有隣厚生会 富士病院	インフルエンザA型	5	
御殿場	公益社団法人有隣厚生会 富士病院	インフルエンザB型	1	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	感染性胃腸炎	7	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	インフルエンザA型	12	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	インフルエンザB型	3	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	新型コロナウイルス感染症	2	
御殿場	ファミリークリニックたうち小児科医院	マイコプラズマ肺炎	2	
御殿場	安田内科小児科医院	インフルエンザA型	10	男7人、女3人
御殿場	安田内科小児科医院	インフルエンザB型	2	男2人、女0人
御殿場	お八幡医院	インフルエンザA型	4	
静岡市	こどもクリニックみなと	マイコプラズマ肺炎	1	11歳男
浜松市	クリニック・パパ	咽頭アデノ	2	
浜松市	クリニック・パパ	インフルエンザA型	5	
浜松市	げんきこどもクリニック	インフルエンザA型	5	
浜松市	幸田子供クリニック	インフルエンザA型	5	
浜松市	やわたの森こどもクリニック	インフルエンザA型	12	
浜松市	やわたの森こどもクリニック	インフルエンザB型	3	
浜松市	やわたの森こどもクリニック	マイコプラズマ肺炎	2	
浜松市	縣医院	インフルエンザA型	3	
浜松市	縣医院	インフルエンザB型	3	
浜松市	おおば小児科	インフルエンザA型	10	
浜松市	浜松赤十字病院	インフルエンザA型	5	
浜松市	浜松赤十字病院	インフルエンザB型	1	
浜松市	大竹内科医院	インフルエンザA型	9	
浜松市	大竹内科医院	インフルエンザB型	2	

静岡県の感染症週報はホームページでも御覧いただけます。

(「静岡県 感染症週報」で検索)

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>



第1週

		静岡県							全国				
		第48週	第49週	第50週	第51週	第52週	今週	年累計	第50週	第51週	第52週	今週	年累計
1類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核	3	7	3	7	9	0	0	214	244	295	41	41
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザH5N1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザH7N9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	1	1	0	0	0	49	47	44	13	13
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	E型肝炎	1	0	0	0	1	0	0	9	13	9	1	1
	ウエストナイル熱(ウエストナイル熱を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4類	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	エムボックス	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ギヤサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
	腎臓機能性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	1	0	1	3	0	0	0	31	32	24	3	3
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	2	2
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	ペネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雞しんチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	3	2	1	1	0	0	0	35	26	31	37	37
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アメーバ赤痢	1	0	0	0	1	0	0	8	5	8	0	0
	ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	0	5	4	3	2	2
	カルバペム耐性腸内細菌目細菌感染症	0	0	0	1	2	0	0	12	9	20	9	9
	急性弛緩性麻痺	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0
	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)	3	4	2	1	1	0	0	14	9	15	2	2
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	7	5	1	0	0
	創傷型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	1	0	0	0	21	28	22	8	8
	後天性免疫不全症候群	1	0	0	0	0	0	0	13	9	13	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	慢性的インフルエンザ菌感染症	0	0	1	0	0	0	0	9	5	13	6	6
	慢性的髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	3	5	1	1	1
	慢性的肺炎球菌感染症	2	2	5	0	1	1	1	48	41	48	32	32
	水痘(入院例に限る)	0	1	0	0	0	0	0	6	8	11	3	3
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	2	1	2	4	3	1	1	185	138	167	28	28
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	0	2	3	4	1	1
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	2	4	3	1	1
	百日咳	11	19	11	9	9	2	2	431	377	352	46	46
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	麻疹	0	0	0	0	0	0	0	5	1	1	1	1
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新型コロナウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。(「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。)

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2026 第 1 週

		静岡県							全国				
		第48週	第49週	第50週	第51週	第52週	今週	計	第50週	第51週	第52週	今週	計
小児科	RSウイルス感染症	39	38	35	41	49	8	210	1,366	1,480	1,709	677	5,232
	咽頭結膜熱	8	19	22	28	21	6	104	706	750	861	255	2,572
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	110	144	98	121	132	32	637	6,446	6,512	6,557	1,600	21,115
	感染性胃腸炎	228	311	344	300	306	134	1,623	11,091	12,510	13,079	3,708	40,388
	水痘	19	17	10	14	13	14	87	886	908	949	493	3,236
	手足口病	5	1	2	1	3	1	13	157	136	131	68	492
	伝染性紅斑	48	32	38	38	27	2	185	1,365	1,191	997	210	3,763
	突発性発しん	14	22	18	15	13	4	86	488	509	516	141	1,654
	ヘルパンギーナ	3	1	1	2	2		9	53	51	67	18	189
	流行性耳下腺炎	4	5	6	2	2	2	21	76	80	73	22	251
小・内	インフルエンザ	5,584	5,462	5,697	4,950	3,262	965	25,920	142,434	126,127	87,534	33,217	389,312
	新型コロナウイルス感染症	178	158	154	150	163	108	911	4,653	4,778	5,068	3,629	18,128
眼科	急性出血性結膜炎								7	9	3	3	22
	流行性角結膜炎	10	13	12	4	5		44	452	419	372	68	1,311
基幹	細菌性髄膜炎	1					1	2	4	15	7	8	34
	無菌性髄膜炎	2		1				3	13	13	15	14	55
	マイコプラズマ肺炎	7	7	11	3	13	1	42	410	389	339	205	1,343
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								5	6	3		14
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								5	12	6	4	27

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り患者数)

2026 第 1 週

		静岡県						全国			
		第48週	第49週	第50週	第51週	第52週	今週	第50週	第51週	第52週	今週
小児科	RSウイルス感染症	0.44	0.43	0.39	0.46	0.55	0.09	0.58	0.63	0.73	0.35
	咽頭結膜熱	0.09	0.21	0.25	0.31	0.24	0.07	0.30	0.32	0.37	0.13
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.24	1.62	1.10	1.36	1.48	0.36	2.75	2.77	2.80	0.82
	感染性胃腸炎	2.56	3.49	3.87	3.37	3.44	1.51	4.73	5.33	5.59	1.90
	水痘	0.21	0.19	0.11	0.16	0.15	0.16	0.38	0.39	0.41	0.25
	手足口病	0.06	0.01	0.02	0.01	0.03	0.01	0.07	0.06	0.06	0.03
	伝染性紅斑	0.54	0.36	0.43	0.43	0.30	0.02	0.58	0.51	0.43	0.11
	突発性発しん	0.16	0.25	0.20	0.17	0.15	0.04	0.21	0.22	0.22	0.07
	ヘルパンギーナ	0.03	0.01	0.01	0.02	0.02		0.02	0.02	0.03	0.01
	流行性耳下腺炎	0.04	0.06	0.07	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.01
小・内科	インフルエンザ	40.17	39.29	40.99	35.61	23.47	6.94	36.96	32.73	22.77	10.35
	新型コロナウイルス感染症	1.28	1.14	1.11	1.08	1.17	0.78	1.21	1.24	1.32	1.13
眼科	急性出血性結膜炎							0.01	0.01	0.00	0.01
	流行性角結膜炎	0.45	0.59	0.55	0.18	0.23		0.65	0.60	0.54	0.13
基幹	細菌性髄膜炎	0.10					0.10	0.01	0.03	0.01	0.02
	無菌性髄膜炎	0.20		0.10				0.03	0.03	0.03	0.03
	マイコプラズマ肺炎	0.70	0.70	1.10	0.30	1.30	0.10	0.85	0.81	0.71	0.43
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.01	0.01	0.01	
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.01	0.02	0.01	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※定点当り患者数とは1週間の1医療機関当りの平均患者数です。(報告数÷定点医療機関数＝定点当り患者数)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症保健所別集計表

第 1 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	8	0.09	6	0.07	32	0.36	134	1.51	14	0.16
賀茂										
熱海					5	1.25				
東部			3	0.23	6	0.46	19	1.46	3	0.23
御殿場	1	0.25	1	0.25	4	1.00	8	2.00		
富士	1	0.11					3	0.33		
静岡市	3	0.19			5	0.31	23	1.44	3	0.19
中部			1	0.09	3	0.27	25	2.27	5	0.45
西部					1	0.08	5	0.42		
浜松市	3	0.17	1	0.06	8	0.44	51	2.83	3	0.17

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	1	0.01	2	0.02	4	0.04	0		2	0.02
賀茂										
熱海					1	0.25				
東部			1	0.08						
御殿場										
富士										
静岡市									1	0.06
中部					1	0.09			1	0.09
西部			1	0.08	1	0.08				
浜松市	1	0.06			1	0.06				

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症				指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	注意報基準値	警報基準値	小児科	内科
総数	965	6.94	108	0.78	8.0	16.0	89	50
賀茂	33	11.00	3	1.00	13.0	26.0	2	1
熱海	73	12.17	16	2.67	9.0	18.0	4	2
東部	137	6.85	6	0.30	8.0	16.0	13	7
御殿場	37	6.17	3	0.50	17.0	34.0	4	2
富士	66	4.40	39	2.60	11.0	22.0	9	6
静岡市	173	6.92	14	0.56	6.0	12.0	16	9
中部	158	9.29	8	0.47	8.0	16.0	11	6
西部	146	7.68	11	0.58	10.0	20.0	12	7
浜松市	142	5.07	8	0.29	7.0	14.0	18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

第 1 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0		1	0.10	0		1	0.10
賀茂										
熱海									1	1.00
東部										
御殿場										
富士										
静岡市					1	0.50				
中部										
西部										
浜松市										

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

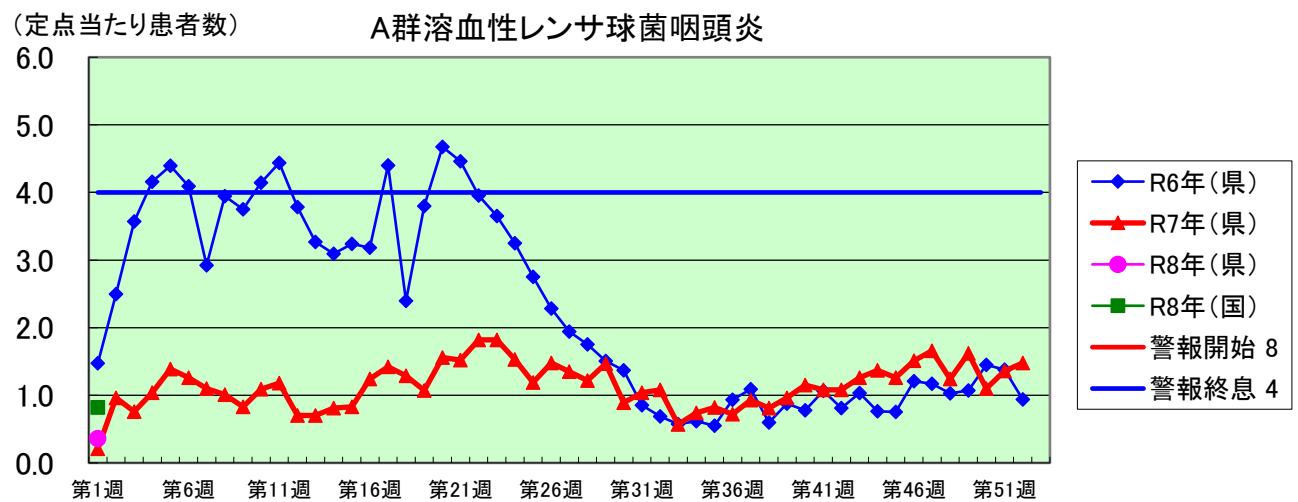
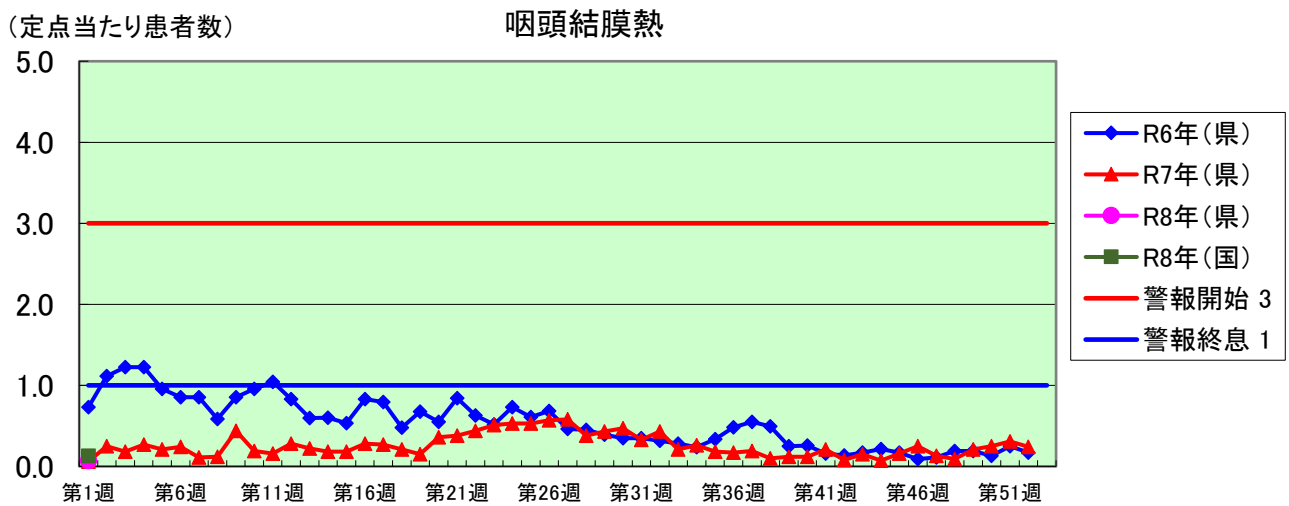
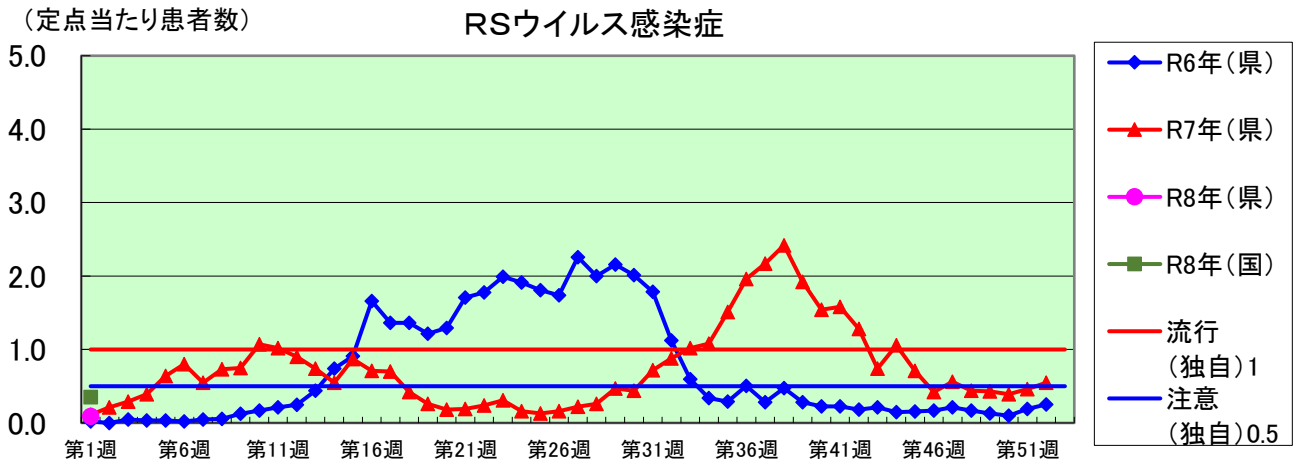
2026 第 1 週

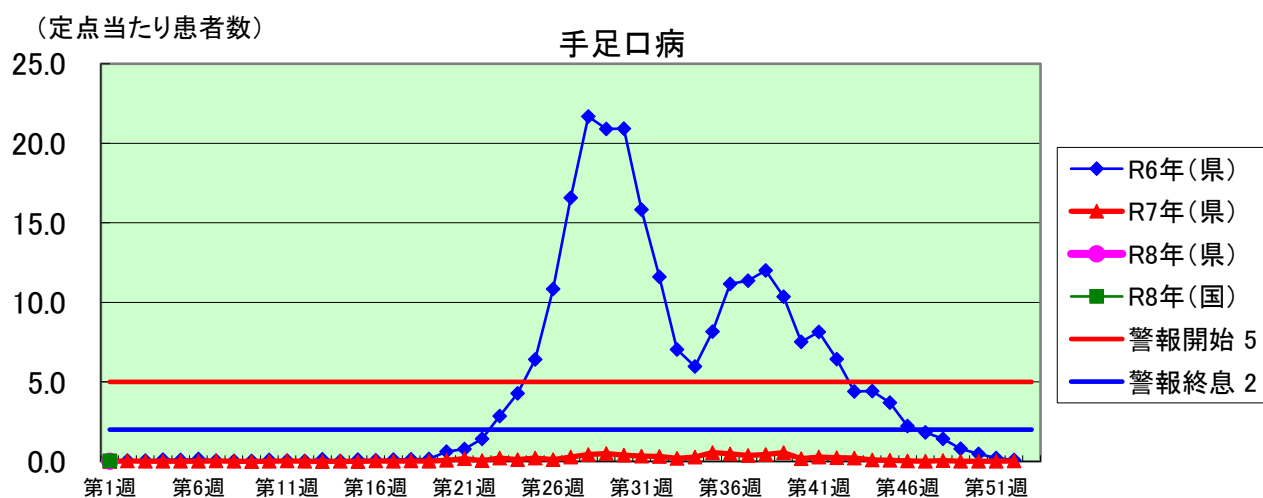
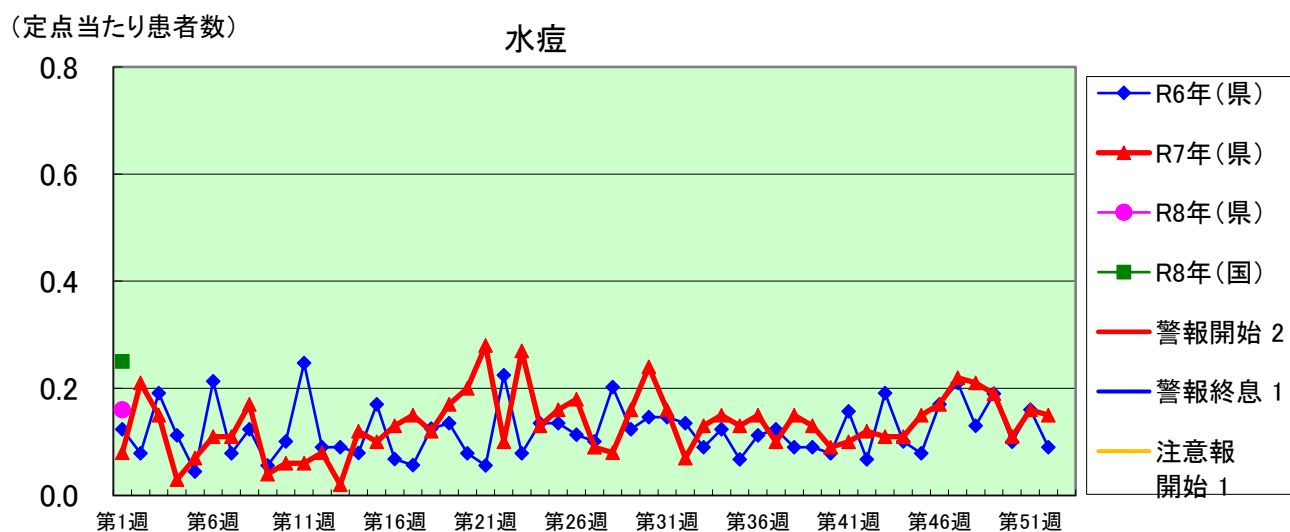
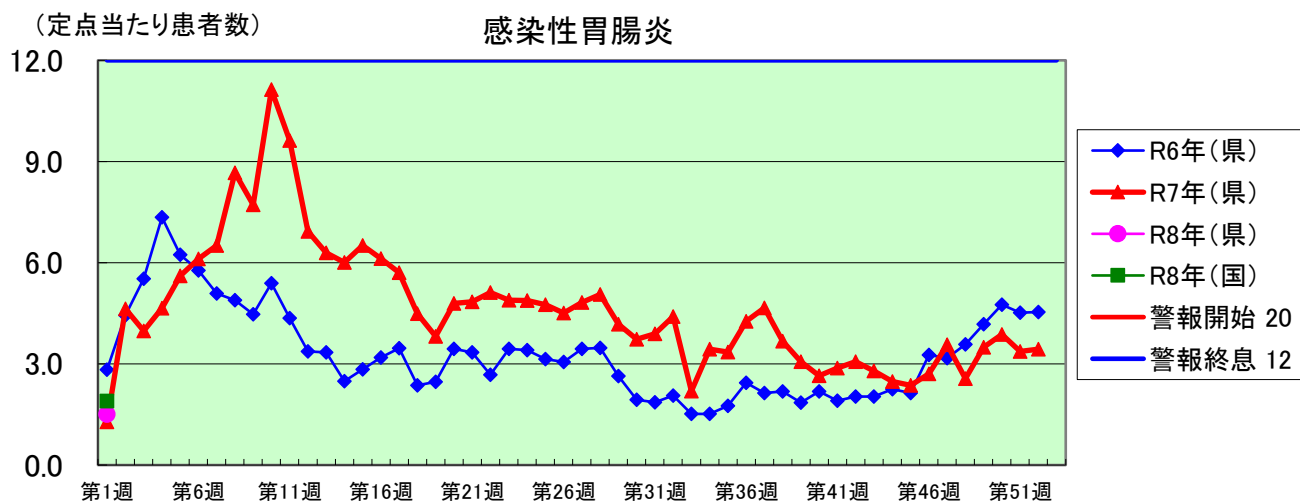
2020 第1 巡																					
年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							計
RSウイルス感染症	3	1	4																		8
咽頭結膜熱			2	1			2		1												6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	1	2	3	3	1	5	4	4	3	3	1	1							32
感染性胃腸炎	1	13	10	17	11	11	5	13	4	5	10	20	3	11							134
水痘	1								2	1	1	6	2	1							14
手足口病				1																	1
伝染性紅斑								1	1												2
突発性発しん		3	1																		4
ヘルパンギーナ																					0
流行性耳下腺炎							1	1													2
年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ	8	13	44	32	26	38	26	50	24	17	12	102	60	160	114	61	59	60	37	22	965
新型コロナウイルス感染症		1		1	1	2						1	4	13	6	8	17	5	18	31	108
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		計
急性出血性結膜炎																					0
流行性角結膜炎																					0
年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					計
細菌性髄膜炎	1																				1
無菌性髄膜炎																					0
マイコプラズマ肺炎				1																	1
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					0
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					0

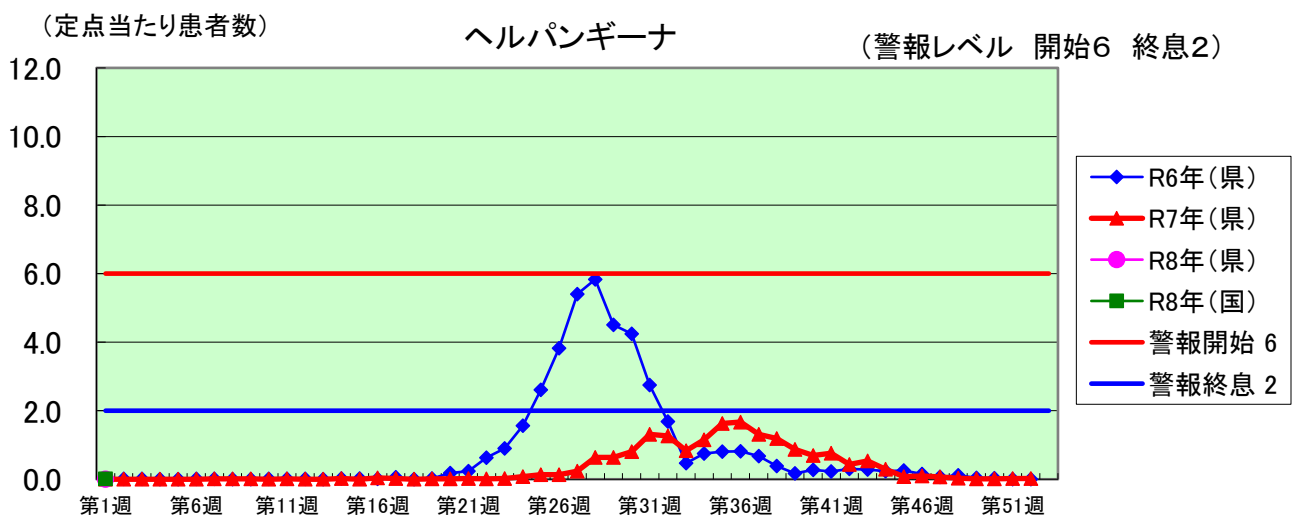
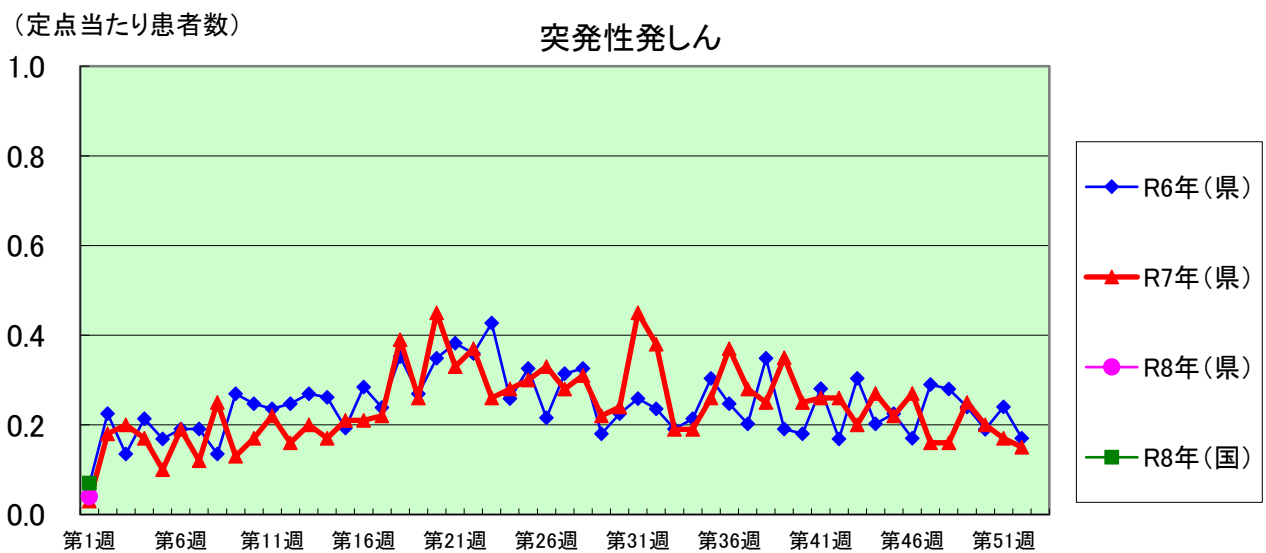
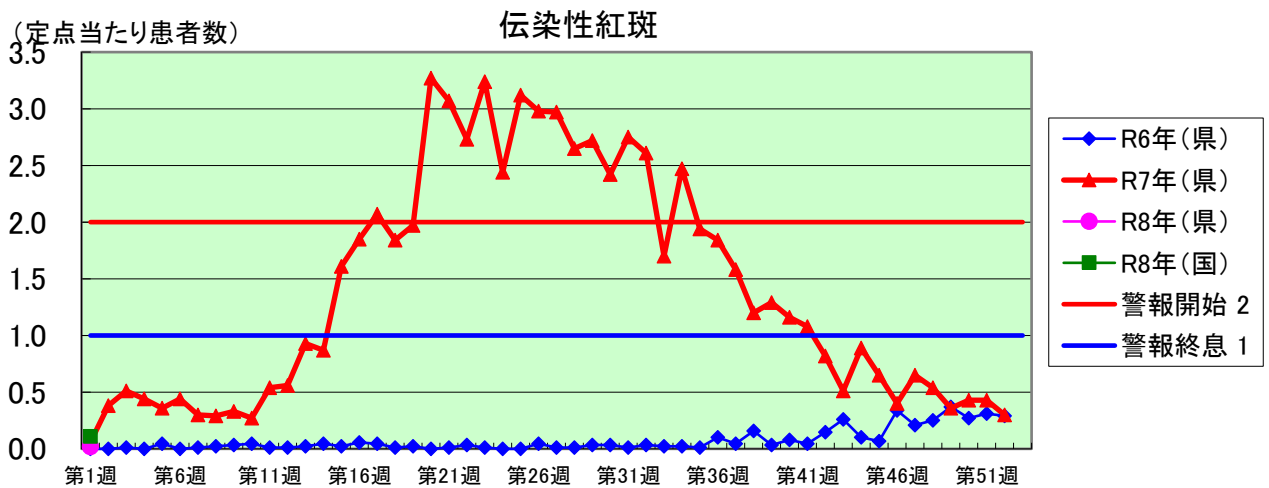
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2026 第 1 週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							計
RSウイルス感染症	0.03	0.01	0.04																		0.09
咽頭結膜熱			0.02	0.01			0.02		0.01												0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.01	0.01	0.02	0.03	0.03	0.01	0.06	0.04	0.04	0.03	0.03	0.01	0.01							0.36
感染性胃腸炎	0.01	0.15	0.11	0.19	0.12	0.12	0.06	0.15	0.04	0.06	0.11	0.22	0.03	0.12							1.51
水痘	0.01								0.02	0.01	0.01	0.07	0.02	0.01							0.16
手足口病				0.01																	0.01
伝染性紅斑								0.01	0.01												0.02
突発性発しん		0.03	0.01																		0.04
ヘルパンギーナ																					0.00
流行性耳下腺炎							0.01	0.01													0.02
年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ	0.06	0.09	0.32	0.23	0.19	0.27	0.19	0.36	0.17	0.12	0.09	0.73	0.43	1.15	0.82	0.44	0.42	0.43	0.27	0.16	6.94
新型コロナウイルス感染症		0.01		0.01	0.01	0.01						0.01	0.03	0.09	0.04	0.06	0.12	0.04	0.13	0.22	0.78
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		計
急性出血性結膜炎																				0	0.00
流行性角結膜炎																				0	0.00
年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					計
細菌性髄膜炎	0.10																				0.10
無菌性髄膜炎																					0.00
マイコプラズマ肺炎				0.10																	0.10
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					0.00
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					0.00

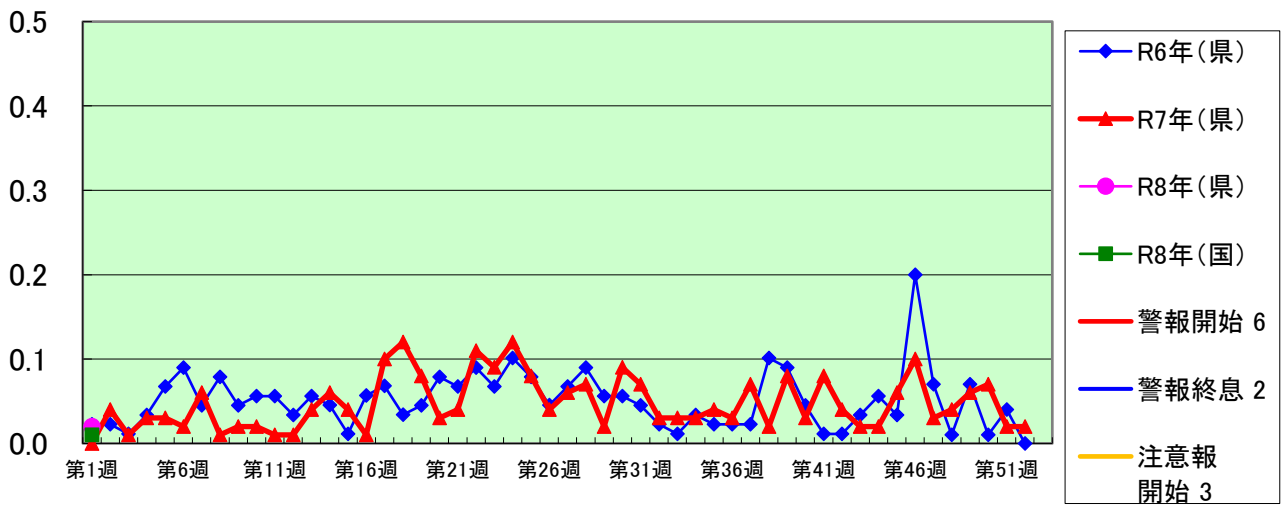






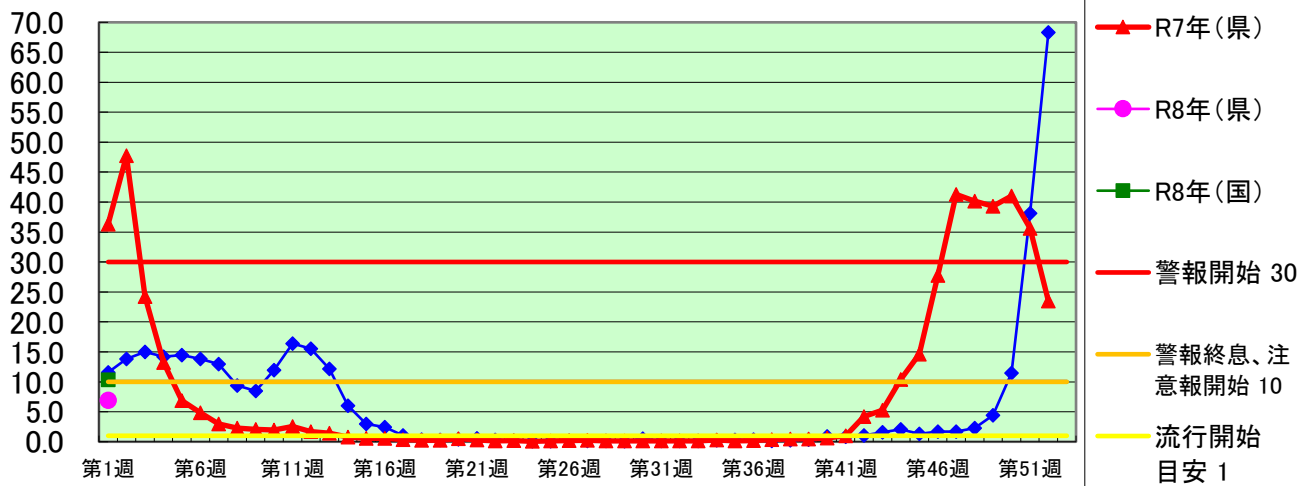
(定点当たり患者数)

流行性耳下腺炎



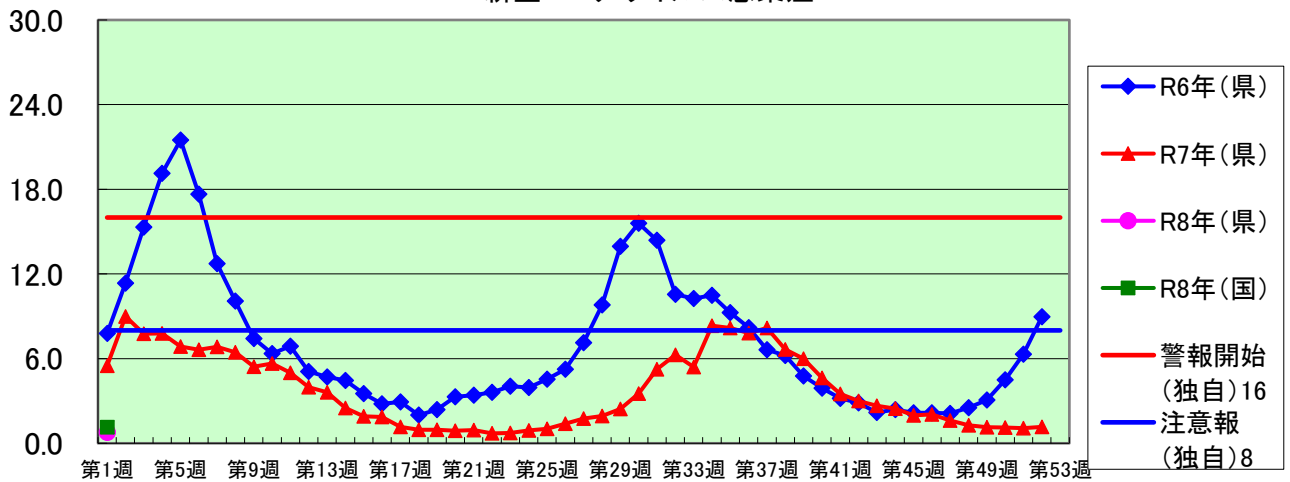
(定点当たり患者数)

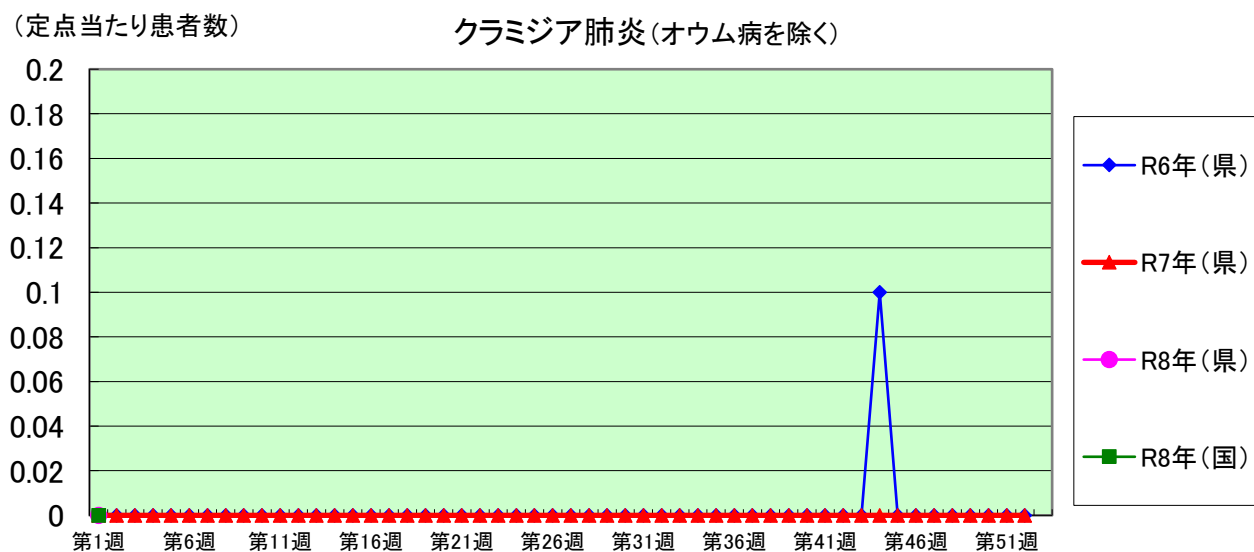
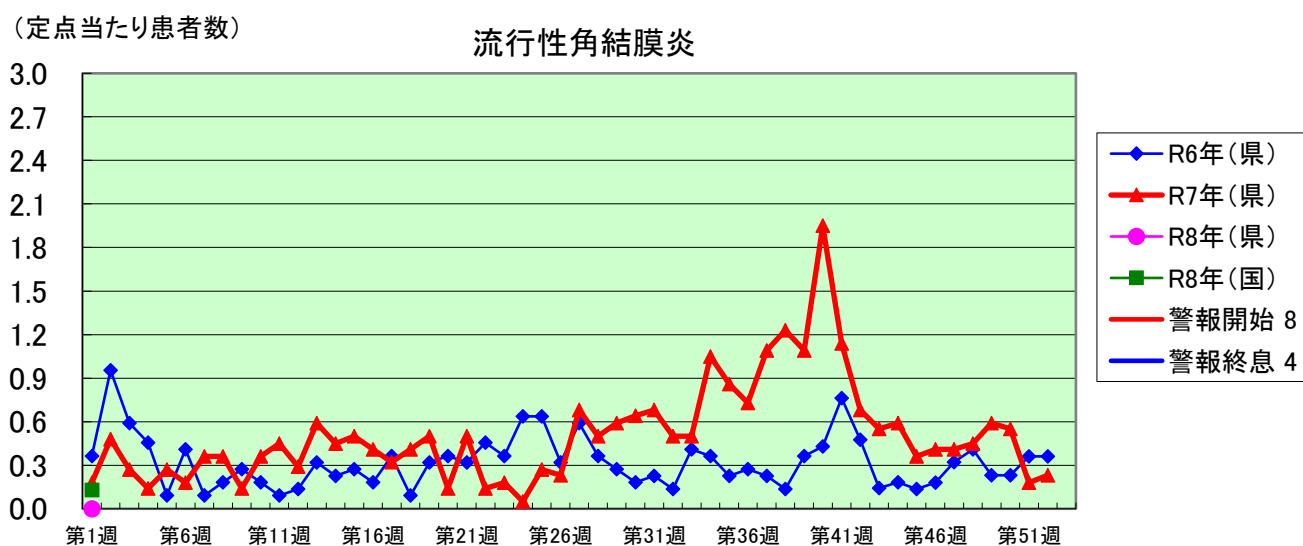
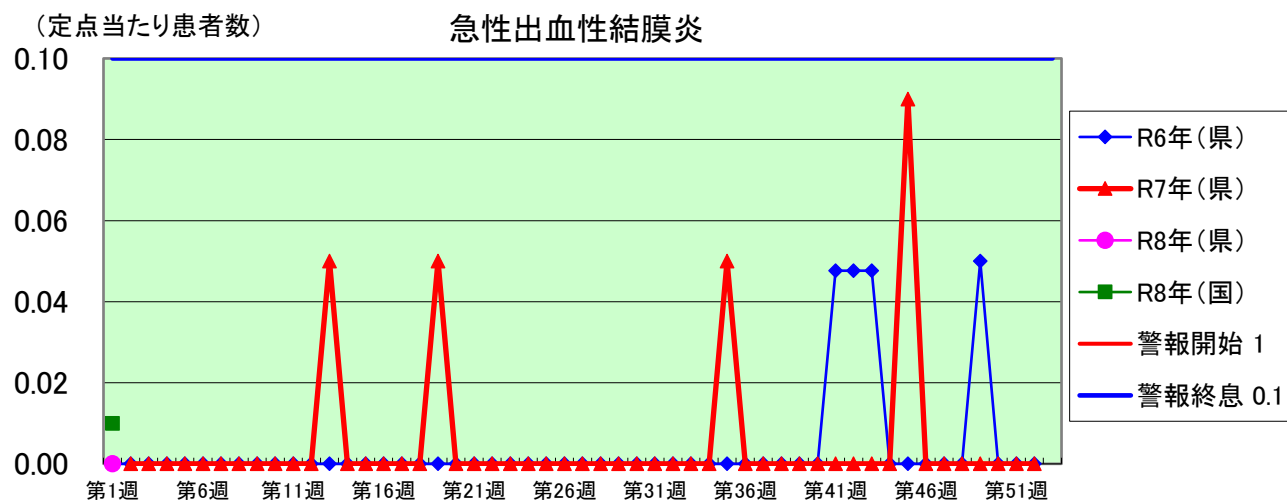
インフルエンザ



(定点当たり患者数)

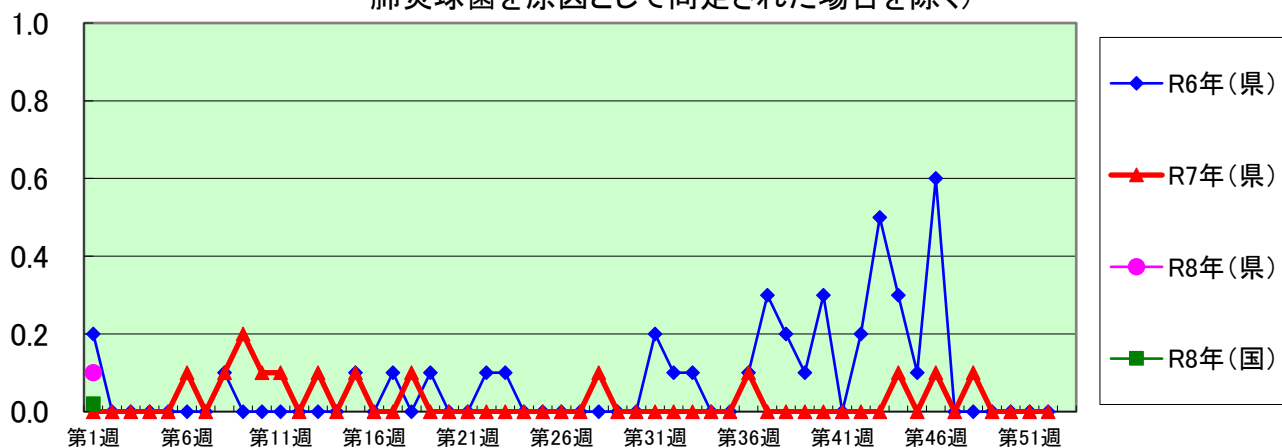
新型コロナウイルス感染症





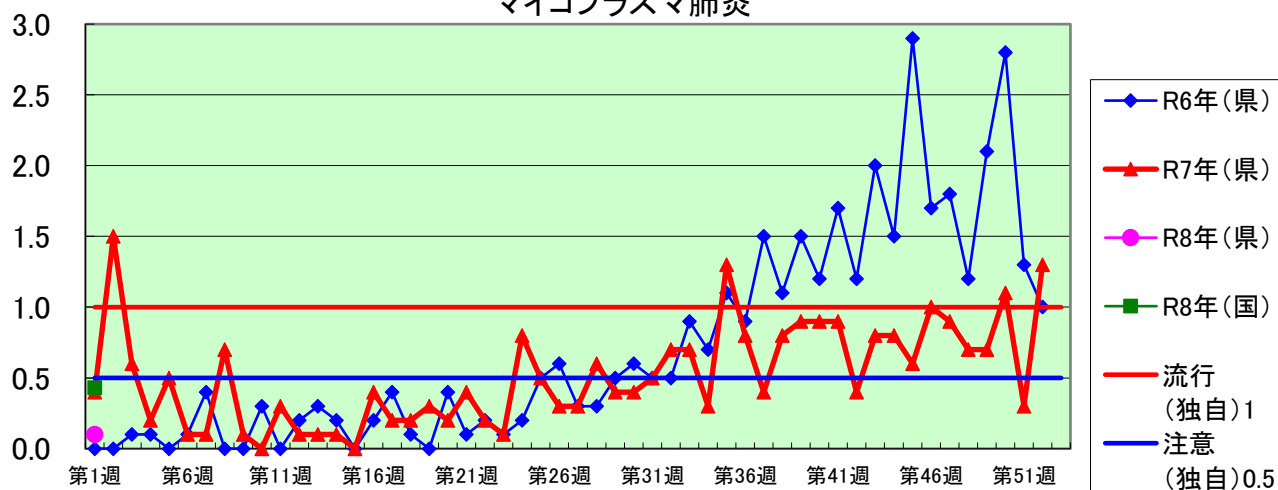
細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く）

（定点当たり患者数）



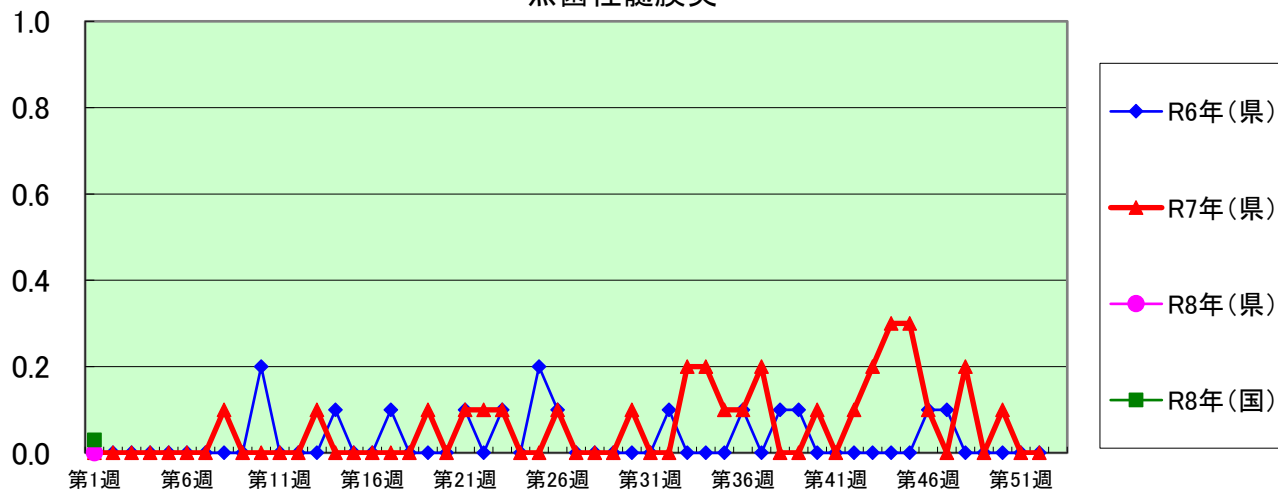
マイコプラズマ肺炎

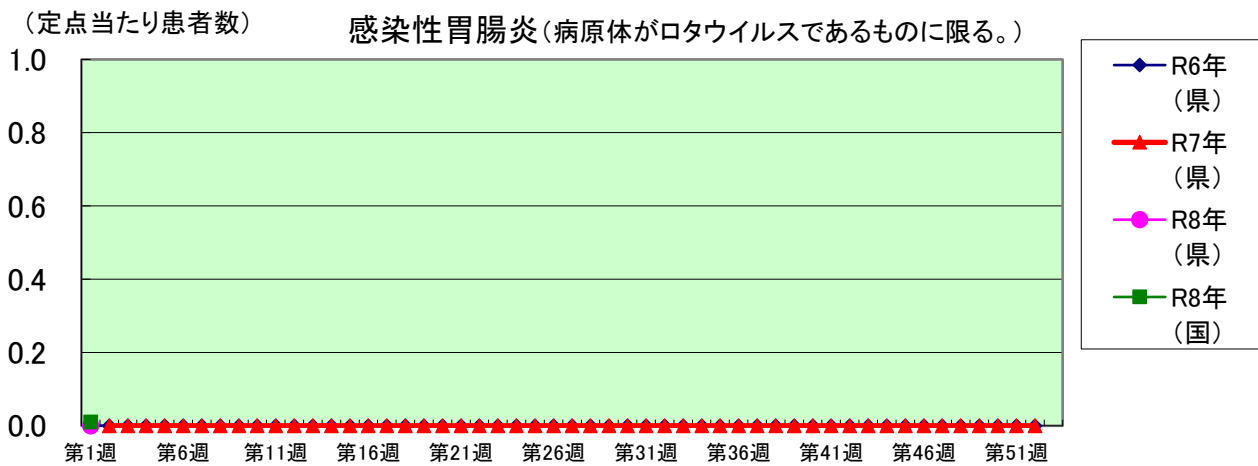
（定点当たり患者数）



無菌性髄膜炎

（定点当たり患者数）





定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2025年 11 月

	静岡県							全国				
	6月	7月	8月	9月	10月	今月	計	8月	9月	10月	今月	計
性器クラミジア感染症	39	42	39	52	39	40	251	2,428	2,691	2,595	2,295	10,009
性器ヘルペスウイルス感染症	15	9	11	13	14	16	78	858	954	908	904	3,624
尖圭コンジローマ	16	11	7	9	10	10	63	536	532	534	472	2,074
淋菌感染症	9	6	11	9	12	11	58	752	816	762	643	2,973
性器クラミジア感染症(男)	9	17	14	18	20	13	91	1,224	1,352	1,266	1,140	4,982
性器クラミジア感染症(女)	30	25	25	34	19	27	160	1,204	1,339	1,329	1,155	5,027
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	8	3	3	4	5	8	31	332	389	358	339	1,418
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	7	6	8	9	9	8	47	526	565	550	565	2,206
尖圭コンジローマ(男)	6	-	3	5	7	6	27	382	376	367	320	1,445
尖圭コンジローマ(女)	10	11	4	4	3	4	36	154	156	167	152	629
淋菌感染症(男)	5	5	6	7	7	8	38	557	599	573	488	2,217
淋菌感染症(女)	4	1	5	2	5	3	20	195	217	189	155	756
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	21	17	17	23	11	32	121	1,268	1,261	1,181	1,233	4,943
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-	-	1	-	1	23	19	22	24	88
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	7	5	8	9	29

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2025年 11 月

	静岡県						全国			
	6月	7月	8月	9月	10月	今月	8月	9月	10月	今月
性器クラミジア感染症	1.30	1.40	1.30	1.73	1.30	1.33	2.47	2.74	2.67	2.34
性器ヘルペスウイルス感染症	0.50	0.30	0.37	0.43	0.47	0.53	0.87	0.97	0.93	0.92
尖圭コンジローマ	0.53	0.37	0.23	0.30	0.33	0.33	0.54	0.54	0.55	0.48
淋菌感染症	0.30	0.20	0.37	0.30	0.40	0.37	0.76	0.83	0.78	0.66
性器クラミジア感染症(男)	0.30	0.57	0.47	0.60	0.67	0.43	1.24	1.38	1.30	1.16
性器クラミジア感染症(女)	1.00	0.83	0.83	1.13	0.63	0.90	1.22	1.36	1.37	1.18
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.27	0.10	0.10	0.13	0.17	0.27	0.34	0.40	0.37	0.35
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.23	0.20	0.27	0.30	0.30	0.27	0.53	0.58	0.57	0.58
尖圭コンジローマ(男)	0.20	—	0.10	0.17	0.23	0.20	0.39	0.38	0.38	0.33
尖圭コンジローマ(女)	0.33	0.37	0.13	0.13	0.10	0.13	0.16	0.16	0.17	0.15
淋菌感染症(男)	0.17	0.17	0.20	0.23	0.23	0.27	0.57	0.61	0.59	0.50
淋菌感染症(女)	0.33	0.37	0.13	0.13	0.10	0.13	0.20	0.22	0.19	0.16
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.10	1.70	1.70	2.30	1.10	3.20	2.64	2.63	2.48	2.57
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	—	—	—	—	0.10	—	0.05	0.04	0.05	0.05
薬剤耐性緑膿菌感染症	—	—	—	—	—	—	0.01	0.01	0.02	0.02

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)保健所別集計表

2025年 11 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	40	1.33	16	0.53	10	0.33	11	0.37
賀茂
熱海	1	1.00	2	2.00	-	-	-	-
東部	2	0.40	-	-	-	-	-	-
御殿場	3	3.00	1	1.00	-	-	-	-
富士	3	1.00	1	0.33	-	-	1	0.33
静岡市	10	1.67	8	1.33	6	1.00	5	0.83
中部	2	0.50	2	0.50	-	-	3	0.75
西部	14	2.80	1	0.20	1	0.20	2	0.40
浜松市	5	1.00	1	0.20	3	0.60	-	-

保健所名	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	32	3.20	-	-	-	-
賀茂	3	3.00	-	-	-	-
熱海	1	1.00	-	-	-	-
東部	2	2.00	-	-	-	-
御殿場
富士	8	8.00	-	-	-	-
静岡市	13	6.50	-	-	-	-
中部	-	-	-	-	-	-
西部	3	3.00	-	-	-	-
浜松市	2	1.00	-	-	-	-

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

11 月

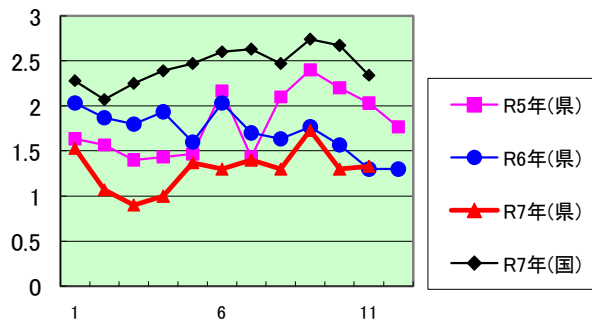
定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

11 月

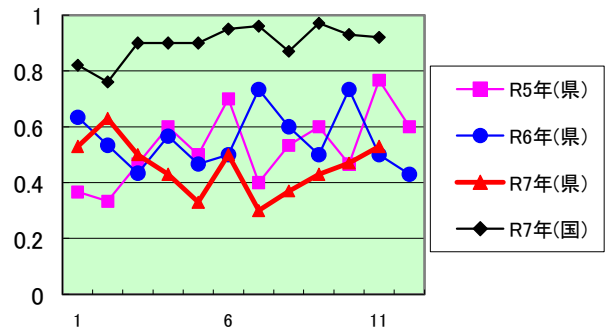
[illegible]

定点把握感染症(月報)推移グラフ

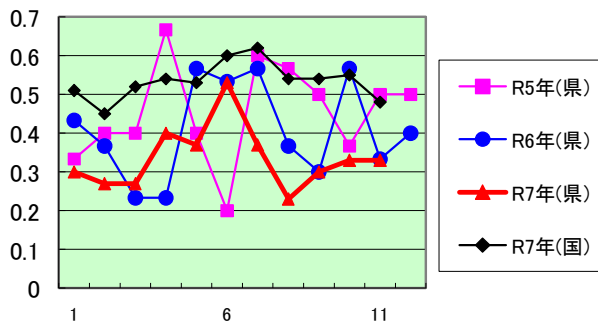
性器クラミジア感染症



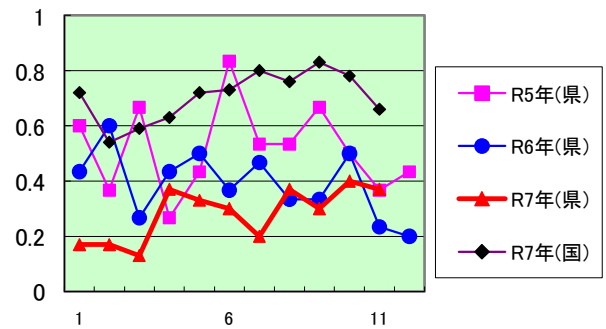
性器ヘルペスウイルス感染症



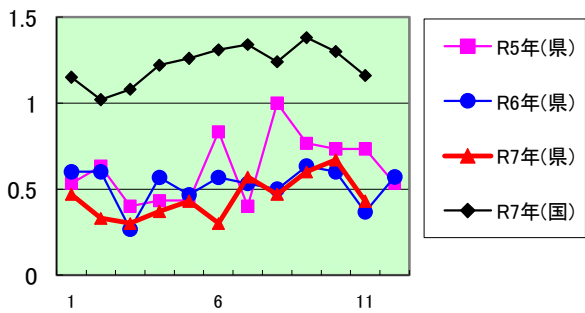
尖圭コンジローマ



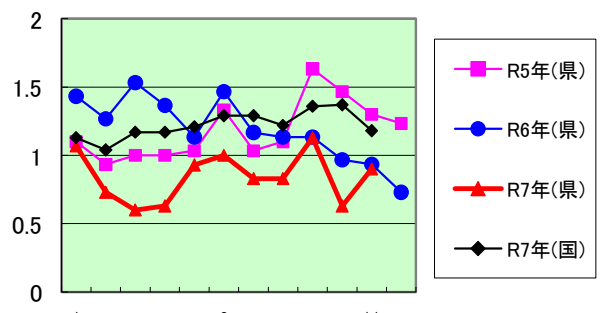
淋菌感染症



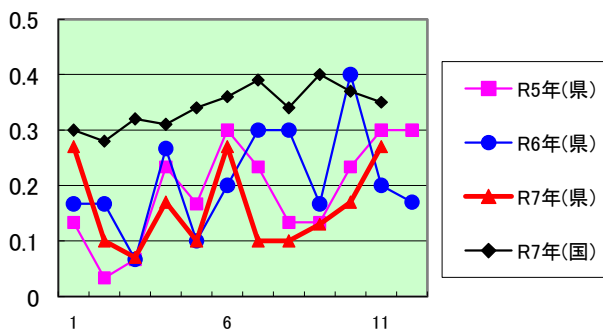
性器クラミジア感染症(男)



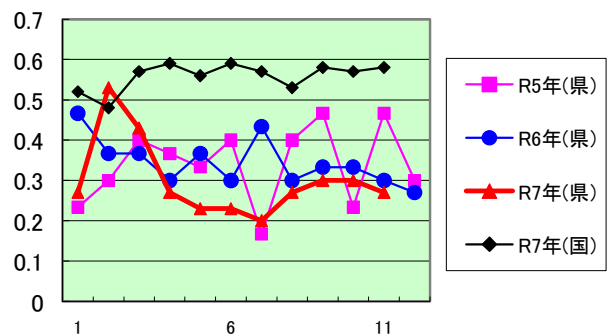
性器クラミジア感染症(女)



性器ヘルペスウイルス感染症(男)

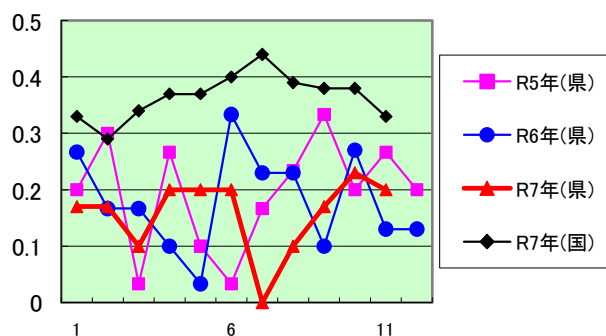


性器ヘルペスウイルス感染症(女)

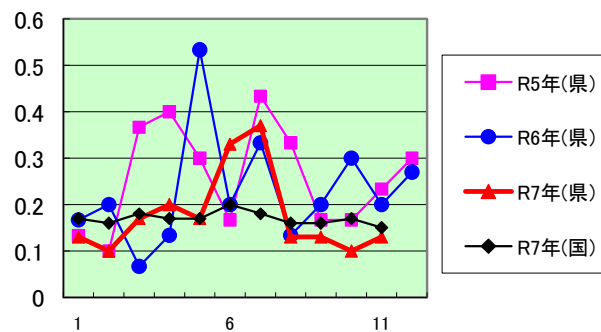


定点把握感染症(月報)推移グラフ

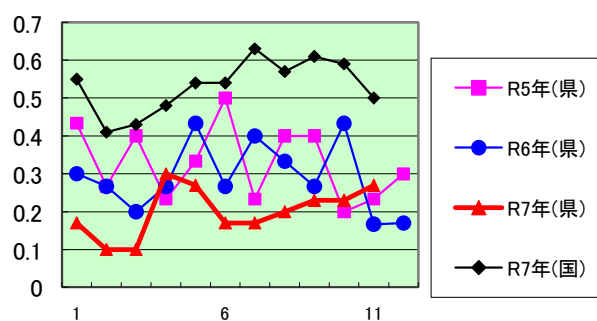
尖圭コンジローマ(男)



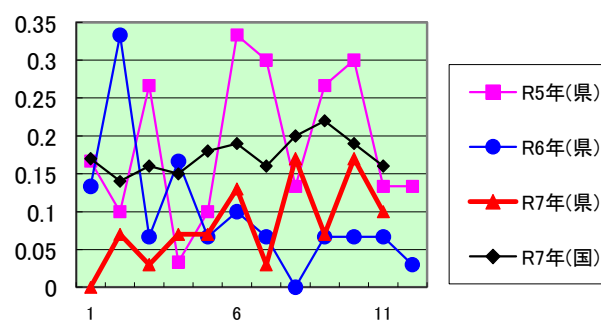
尖圭コンジローマ(女)



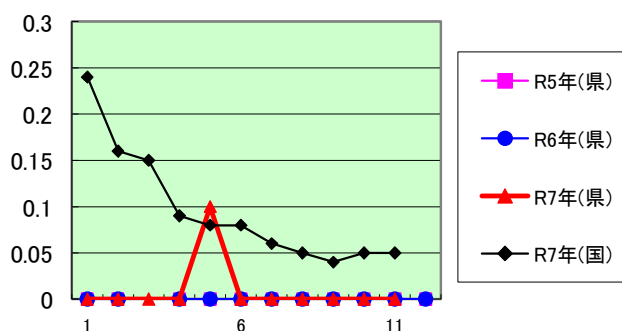
淋菌感染症(男)



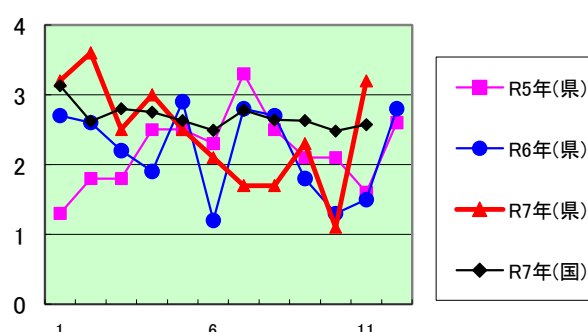
淋菌感染症(女)



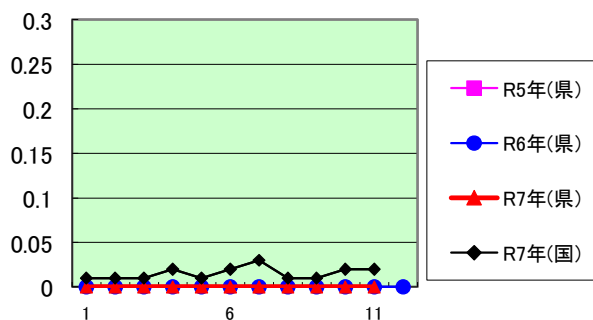
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



薬剤耐性緑膿菌感染症



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

第1週は閉鎖措置がありませんでした

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

第1週

12/29

 $\sim 1/4$

保:保育園 幼:幼稚園 小:小学校 中:中学校 高:高等学校
特支:特別支援学校 こ:こども園 高専:高等専門学校

[illegible]

第1週は閉鎖措置がありませんでした

インフルエンザ施設別発生状況(学級閉鎖)について

2025年

第1週

12/29

～ 1/4

保:保育園 幼:幼稚園 小:小学校 中:中学校 高:高等学校
 特支:特別支援学校 こ:こども園 高専:高等専門学校

市町	学級閉鎖があった 学校・園の施設種別	保	幼	小	中	高	特支	こ	高専	今週 合計	前週	今シーズン 合計
島田市	学校・園の数										0	43
	学校・園の患者数合計										0	859
焼津市	学校・園の数										0	52
	学校・園の患者数合計										0	1,123
藤枝市	学校・園の数										3	72
	学校・園の患者数合計										73	1,265
牧之原市	学校・園の数										0	22
	学校・園の患者数合計										0	351
吉田町	学校・園の数										0	10
	学校・園の患者数合計										0	286
川根本町	学校・園の数										0	2
	学校・園の患者数合計										0	12
磐田市	学校・園の数										0	84
	学校・園の患者数合計										0	1,934
掛川市	学校・園の数										5	67
	学校・園の患者数合計										56	1,332
袋井市	学校・園の数										2	41
	学校・園の患者数合計										22	789
湖西市	学校・園の数										0	24
	学校・園の患者数合計										0	464
御前崎市	学校・園の数										0	7
	学校・園の患者数合計										0	187
菊川市	学校・園の数										2	18
	学校・園の患者数合計										27	267
森町	学校・園の数										0	10
	学校・園の患者数合計										0	279
浜松市中央区	学校・園の数										2	238
	学校・園の患者数合計										51	5,087
浜松市浜名区	学校・園の数										0	68
	学校・園の患者数合計										0	1,446
浜松市天竜区	学校・園の数										0	6
	学校・園の患者数合計										0	95
県内合計	学校・園の数										37	1,358
	学校・園の患者数合計										569	26,974
2025-2026 シーズン 施設別合計	学校・園の数	16	83	735	281	180	12	51				
	学校・園の患者数合計	169	802	14,417	5,364	5,468	110	644				

・引き続き、咳エチケット※、手洗い、換気等、基本的な感染対策をお願い致します。

(※ 咳をするときに服のそでやハンカチで口鼻をおおう、マスクの適切な着用が可能なら咳の出るときはマスクを着ける)

新型コロナ変異株ゲノム解析結果について

11月上旬～11月中旬に発症した方について、国立遺伝学研究所（三島市）において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。（県所管分）

結果判明日：12月11日（木）

<変異株の件数>

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株 (内BA.2) (内BA.5) (内組換え体)	0	0	3	0	0	0	0	3
	(0)	(0)	(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

本県の変異株の判明状況（12月21日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	11,325	6,435	2,482	2,408
	(前回からの増加数)	(3)	(3)	(0)	(0)
	デルタ株 (R3.5.16～)	判明者数	2,411	1,256	648
		(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)
	オミクロン株 (R4.1.1～)	判明者数	8,914	5,179	1,834
		(前回からの増加数)	(3)	(0)	(0)
	※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	2,172	1,130	562
		(前回からの増加数)	(3)	(0)	(0)
	※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,515	2,399	831
		(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)
	※オミクロン株 【内、組換え体】	判明者数	903	525	106
		(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)

※県：国立遺伝学研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

過去１年間の本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（12月21日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA. 2	内、BA. 5	内、組換え体	BA. 2	BA. 5	組換え体
11月25日（月）～ 12月22日（日）	21	17	0	4	81.0%	0.0%	19.0%
12月23日（月）～ 1月26日（日）	44	26	0	18	59.1%	0.0%	40.9%
1月27日（月）～ 2月23日（日）	28	14	0	14	50.0%	0.0%	50.0%
2月24日（月）～ 3月23日（日）	24	9	0	15	37.5%	0.0%	62.5%
3月24日（月）～ 4月20日（日）	11	3	0	8	37.5%	0.0%	62.5%
4月21日（月）～ 5月25日（日）	5	2	0	3	37.5%	0.0%	62.5%
5月26日（月）～ 6月22日（日）	4	4	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
6月23日（月）～ 7月27日（日）	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
7月28日（月）～ 8月24日（日）	7	6	0	1	85.7%	0.0%	14.3%
8月25日（月）～ 9月21日（日）	3	3	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
9月22日（月）～ 10月26日（日）	21	19	0	2	90.5%	0.0%	9.5%
10月27日（月）～ 11月23日（日）	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
11月24日（月）～ 12月21日（日）	3	3	0	0	100.0%	0.0%	0.0%

ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む）
（11月24日（月）～12月21日（日）判明分）

系統名※	判明数	割合
PQ	3	100.0%
NB.1.8.1	0	0.0%
KP.3	0	0.0%
その他のKP	0	0.0%
XEC	0	0.0%
その他	0	0.0%
計	3	100.0%